新京日日新聞 夕刊 五月二十三日
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

満洲里會議の準備 満洲國側全くなる
貴邦代表の來着と隨員名通知方を外蒙政府に對し督促

〔満洲里二十二日發國通〕會議準備萬端整つた満洲國側は二十二日興安北警備軍ハルハ側の出先官憲を通じて満洲國側代表は二十二日全部満洲里に出揃ひ貴邦代表の來着を鶴首して待ち居る旨並に外蒙側隨員名の至急通知方を外蒙政府に督促するところあつた

民政黨から政友に縁切り狀
聲明に代へて通告

〔東京國通〕民政黨は連繫解消につき誤解を避けるため政友側に手交せる通告文の大要を發表し聲明に代へることとなつたが右通告文の要點左の如し

本日迄國策の檢討樹立を目的とし政民連繫をなし來つたが今回政府に於ても同樣の目的を以つて内閣審議會を設置し我黨は之に參加したが貴黨は之に參加されなかつた、斯くては我黨としては一方政府の審議會に參加し他方政府に對し反對的立場にある貴黨と連繫して別個に國策の檢討樹立に當ることは往々相容れざる場合を生ずる虞れがあるのみならず審議會設置後之に委員を參加せしめたる我が黨と近來政府に對する反對的立場が一層濃厚となれるやうに思はる貴黨と依然連繫を繼續するは世上幾多の誤解を生じ政界を陰鬱ならしめる虞れがある、云々

政友會も態度表明

〔東京國通〕政友會では民政黨の連繫解消の通告に接し松野幹事長談の形式で左の如く態度を表明した

政民連繫は超黨派的な憲政の大義を擁護すると共に根本國策の確立を目的としたものである、然るに民政黨に於ては内閣審議會參加を機會とし一方的に連繫解消をなせるはその事情如何を問はず諒解に苦しむところである、併し既に民政黨自ら當初の聲明に頓着なく黨議を決定した以上我黨は此の通告を應諾すると同時に今後益々積極的經綸の樹立實現に邁進せんとするものである

大橋外交部次長 慰留され留任
本日當局から發表

満洲國外交部次長大橋忠一氏の辭表提出については既報の通りであるが、各方面よりの慰留あり又内外の情勢に鑑み同氏は意を飜へし留任、次長として新大臣を助け活躍することとなつた旨本日當局より發表された

米支郵飛開始はデマ
支那當局發表

〔南京二十三日發國通〕米支郵便飛行につきワシントン電として米國郵務當局が九月中にホノルル、廣東間の飛行郵便を開始する旨を報じてゐるが國民政府外交部は右記事に關し右は外部の宣傳にして支那は何等之に關せること無しと發表した

満洲國參議連
淨月潭貯水池にピクニック

建國以來最初の國務總理以下國務大臣の大異動も一段落を告げ殘るは省長の補充のみとなつた、參議府ではこゝもとホッと一息の態で廿三日は參議連初夏の一日を新京郊外に清遊すべく國都建設局々員の案内で國都唯一の水郷淨月潭貯水池に向つた、參加者は副議長筑紫熊七、増　、胡嗣　、田邊治通、矢田七太郎の諸氏午前十時早くも勢揃ひして自動車を連ねからりと晴れたコバルトの空の下を卅哩の速力でドライヴの快を滿喫しながら到着、一行は半分以上竣工した貯水池の突堤に上り局員の説明で先づ建設狀況を聽取した

駐支大使館建築地
購入方申込み

〔南京廿二日發國通〕駐支大使館建築地に就ては當地總領事館に於て物色の結果、總領事館の隣接地を適當と認め廿一日松平大使館書記官より國民政府外交部を通じて南京市政府に對し右土地購入方を申入れた

支那側の手先に躍る不逞鮮人群
―國民政府の態度不可解―

〔上海廿二日發國通〕満洲國邊境特に支那國境附近に跋存して騷動を續ける匪賊の大部分が義勇軍の美名の下に支那側官憲及び民間の一部の操る糸に依つてゐるものであることは既に周知の事實となつてゐるが最近支那側の匪賊操縱者は匪賊との連絡に不逞鮮人を使用し重要指令の逆達、武器、資金の授與を行ひつつあることが漸次明瞭となつた、支那側の手先となつて踊る之等鮮人の根城は北四川路ダンスホールを經營する〇〇飯店にしてその經營者は南京方面に廣大なる土地建物を有し財的に相當有力者として上海事變當時には便衣隊一方の巨魁として活動せる鮮人にして今春いらい支那側反日滿者と連絡して繼續的に輸送した武器資金は極めて多額に上つてゐる、右飯店を根城とする鮮人群は約八十名の南京軍官學校卒業生を中心とし激烈な排日結社を形成し藍衣社系其他の反日團體の援助指導下に行動してゐる支那一部官民の斯の如き排日直接行動及び之等を放置して何等の取締りに出でざる國民政民の態度こそ最も不可解なものにして

今後

幾多陰險なる事實の確證が暴露擴大するにつれのつぴきならぬ事態を暴露するのではないかと見られる

孫財政部大臣のスピード振り
南軍司令官もホトホト感心

流石に満洲國の大臣さんだ、今度龍江省長から財政部大臣に躍り上つた孫其昌御大

例の

疾風的任命に時任式には到底間に合ふまいと思つてゐた昔日になつて飛行機で無雜作にフッ飛んで來、晴れの式に顔を揃へたかと思へば翌廿二日は早朝から前大臣熙洽氏と餘を連ねて初登廳、事務引繼ぎや各部との對面やら訓示やらぐんぐん濟ませ北鮮三港への税關進出協定調印式に臨み午後は午後で三時前後再び財政部へ乘込んで來て永井關税科長を相手に關税進出細目協定の勉強、その間永井龍江省總務廳長を相手に殘務整理まで濟ませ更に一夜明けた今朝は午前七時發ひかりで一路朝鮮へ、その無雜作、スピード振りは前代未聞といはれ流石物に動ぜぬわが南さんも悉く感心して「あれだ、あれだ、あれでなくちや」と殊の外御機嫌だといふ、朝鮮へ行けばいづれ宇垣總督とも會見しやうがその風貌から大まかながら細心な點まで全くそつくりで満洲國の宇垣さんと評判顯著な孫御大との

會見

はむしろ非公式個人的な男と男としてのものこそ興味ありとの噂になつてゐる(寫眞は今朝ひかりで出發の孫財政部大臣)

外務省參議會で通商局の昇格承認
對外通商振興を第一義的に

〔東京國通〕廿二日夜外務省官邸で開催された外務參議會第五回總會に於ては外務省側度能率委員會小委員會に於て

立案

された通商局外局案(通商局を昇格して外務省外局とするもの)が正式に提案され、參議會總會の全會一致の支持を得たので外務省に於ては右外局案を近く省議として正式に決定、明年度外務省豫算中に計上する事となつた、右案は

一、現在の外務省通商局を昇格せしめ通商局長官(勅任)を任命し此下に三部を置き各勅任部長を配屬せしめる

一、第一部に於ては通商政策確定に關する一般事項を取扱ひ

一、第二部に於ては我商權の保護助長を取扱ひ

一、第三部に於ては通商に關する世界各地の情報蒐集並に新市場の開拓に關する事項を取扱はしめる

ものであり、通商關税政策の確定を通商局長官の權限に委ね、且つ通商統制の權能を長官の專斷に委ね得られるやうにするものであり大藏省が時に關税政策を以て目的とし、通商政策を以て手段と見るが如き態度、若くは商工省が國內產業の保護を以て第一義的目的となし、通商貿易の進展を以て第二義の目的と觀るが如き態度を一蹴し、通商局外局は對外通商振興を第一義的目的とし、此目的遂行のため通商關税政策の

巧妙

なる有機的統一を期するものであり、日本品の世界的進出とこれに對する各國の防遏措置に對し、元來消極的であつた日本經濟外交陣容に清新の空氣を吹込み、通商調整策を迅速に確立せしめんとするもので世界貿易戰の益々激烈化する折柄極めて重要視されてゐる

内調勅任調査官決定

〔東京國通〕内閣調査局勅任調査官は廿二日夜に至り漸く左の通り決定、廿四日の閣議で正式承認を得る筈である

埼玉縣知事 飯沼一省
大藏省主計局豫算課長 山田龍雄
商工省臨時產業合理局第一部長 藤田國之助
農林省農務局長 小濱八彌
資源局總務部長 松井春生

國民政府 大使交換は
日、ソ、伊、英、米、佛、獨の七國

〔南京廿二日發國通〕國民政府外交部は日、ソ聯、イタリーとの大使交換を實現し英、米、佛、獨との大使交換も既に内定したので之を以て本問題を打切り右七國以外の國に對しては外交上の必要と經費の關係から昇格を行はない事とした尙英、米、獨、佛の四ケ國の大使は大體現在公使をその儘昇格せしむる方針である

自衛移民を排し經濟移民に
＝滿洲移民會社設立案＝

〔東京國通〕滿洲移民政策の確立に就ては嘗て拓務、陸軍兩省側に於て過去三ケ年に亘る自衛移民の

實績

を基礎にこれが考究案樹立の爲綜合研究を重ねつつあつたが南米に於ける移民會社の設立が漸く成功の緒に就かんとしつつあるので、之に力を得て滿洲大移民會社の設立を企圖し、在新京今吉拓務省出張所長を本省に招致の上陸軍省と交渉最後的打合せを遂げるところあつたが漸くこれが具體的の決定を見たので、二十二日午後九時桑重拓務局東亞課長は東京驛發列車で渡滿、現地に於て關東軍方面と折衝を遂げる事となつた而して右移民政策の骨子とするところは從來の自衛移民を廢して純然たる經濟移民農業移民とし向ふ十五ケ年間廿萬戶五十萬人を送らんとする尨大なる移民會社設立等でこれが資本金を幾何とするかは桑重課長が現地に於て關東軍首腦部と折衝の上

決定

する事となつてゐるが、拓務省としては國策的見地より觀て可及的速かなる實現を望んでゐるので支障なき限り來年度豫算に計上、實現を觀るものと謂はれてゐる

國會で闡明された獨外交綱領

〔ベルリン廿一日國通〕ドイツ國會は二十一日午後八時よりクロールオペラに假議事堂に於て開會、劈頭義務兵役法案を可決した、次で八時半よりヒットラー總統は滿場嵐の如き喝采裡に登壇、ナチス黨服に身を固めた六百の國會議員を前に熱辯を振ひ獨の再軍備に對する非難に一矢を酬ひ又佛ソ相互援助條約をこき下して後ドイツ政府の外交綱領十三ケ條を闡明した、ヒットラーは右演説に於て特に

一、空軍ロカルノ協約案參加の餘地ある事

一、個々の隣接諸國と不可侵條約を締結する用意ある事

一、海軍力に於て英國海軍現有勢力の三割五分を要求する

旨闡明し著しく和協態度を示して居る、殊に各國政府に一般に適用される限り潜水艦の全廢にも異議なき旨言明したのは海軍會議を前に英國政府の好意を確保する巧妙な掛引きと見られる

井下郁也氏來社

新京居留民會評議員選擧に第一區で當選した井下郁也氏は

その日〳〵

二十三日挨拶に來社した大橋外交部次長、慰留せられて留任、强硬外交を要する秋望むところ

□ 満洲國内閣の更迭は案外に好評、第二次の大ゆれあるは何人も想像にがたくあるまい

□ 孫財政部大臣のスピード振り滿洲事變前滿洲では見られぬ圖

□ 楠公逝いて六百年、來る二十五日記念式、國難突破の日、忠臣を偲ぶの情切

□ 藝妓屋でハコヤが姐さんの衣類など盜む、こんな樂な仕事はあるまい

人事往來

▲行本邦彦氏(東京會社員)二十二日午後來京國都ホテル投宿
▲足立節治氏(神戶野津商會支配人)同
▲關寒吉氏(航空兵大尉)同
▲長濱義純氏(吉林省學務課長)同
▲久世久氏(東京三井物產社員)同
▲山崎敬一氏(同)同
▲永井四郎氏(龍江省總務廳長)二十三日午前飛行機にて哈市へ
▲本田敬太郎氏(滿洲石油理事)二十三日午前發内地へ
▲内田三郎氏(同)同
▲毛見信治氏(東京會社員)二十二日午後來京名古屋ホテル投宿
▲小林勝一郎氏(東京沖電氣會社員)同
▲小林五郎氏(大阪會社員)同
▲原直知氏(大連會社員)同
▲孫其昌氏(財政部大臣)二十三日午前發京城へ
▲永井稅關科長(財政部)同
▲御影池辰雄氏(關東局警務課長)同歸京
▲安場保健氏(貴族院議員)同發奉天へ
▲楢尾文治氏(奉天會社員)二十二日午後來京ヤマトホテル投宿

團体

▲滋賀縣彥根商業學生五十名二十三日午後三時引返來京同十時發南行
▲滿洲國教育會訪日視察團十七名二十三日午後二時歸京
▲山口高等女學生二十二名二十三日午後七時二十五分引返來京常盤旅館投宿二十四日午後四時發南行
▲大垣產業視察團六十五名二十三日午前六時四十分來京名古屋ホテル投宿二十四日午前九時二十分發ハルビンへ二十五日引返來京同四時發南行
▲培材高等普通學生百十三名二十三日午前六時四十分來京同日午後十時發南行
▲普成專門學生五十一名二十三日午後二時四十分發ハルビンへ二十五日午前六時二十五分引返來京同七時十分發南行
▲瓦房店小學生七十四名二十三日午後二時來京二十四日午前七時十分發南行
▲四平街小學生八十名二十三日午前十一時十分來京二十四日午後零時十五分發南行
▲福岡縣青年學校教員養成所員二十六名二十三日午後九時五十分來京同廿一時發ハルビンへ
▲大牟田商業學生八十六名二十三日午後四時發南行
▲鹿兒島第一高女專科生三十二名同

最後の切札八枚

(女八人感激時代)(合作)

＝誤解された純情＝ 若水絹子作

23 嫉妬 (三)

あれほど毎日のやうにやつて來ては、我儘一杯自分の家のやうに振舞つてゐた蘭子の姿が、この頃になつて大分遠ざかつてゐることに氣がついた。

それに、近頃になつて氣が注いたことだけれど、永見も會社が退けてから直ぐ家へは歸らないやうな氣がするのだつた。

會社から、直ぐ歸るものとしたら、以前のやうに、三日に一度か二日に一度ぐらゐ歸り道で一緒にならない筈はないのだつた。それに此頃妙にソワ〳〵してゐるやうな所があつた。

しかし、さう見えるのは、俗にいふ疑心暗鬼で、或ひは自分の邪推かも知れないが、更に此頃蘭子の足が遠退くのと一緒に、永見も以前ほどに訪ねて來ないのだつた。先週の日曜には何か用事ができたと云つて、とう〳〵訪ねて來なかつたが、あとで聞いてみると、その用事と云つたのも何だかあてにならないやうな氣がした。

あの日には、蘭子も一寸立寄つただけで一日中顏を見せなかつたが、疑つてみれば何處かで二人が會つてゐるやうにも思へるのだつた。

珠惠は、かうしたさま〴〵なことを考へてゐるうちに、段々氣持ちが苛々してくるばかりで耐へられないやうな苦しさを覺えた。そこで、その煩ひから逃れるために、昨晩から編みかけてゐる毛糸のシャツを今日中に仕上げて仕舞ふと思つた。このシャツを編んで永見に贈らうと思つて編めたのだつたが、何だかこの頃になつてすつかり張合が抜けがしてしまつた。

こんな想ひを拂つたところで永見の心をどう左右するわけにもゆかないと思つたからだつた。でも、今日は永見が來るかも知れないと思つたから、それまでに急いで編み上げてしまふと考へた。

十一時頃になつて、弟の鐵二が歸らしく二階へ上つて來たと思つたら、

『お姉さま、御手紙！』

と、云つて、封筒を出した。

『ありがたう！』

受取つてみると、それは學校時代のお友達で、今は田舍の方に行つてゐる牛塚といふ女から寄越したものだつた。

『鐵ちやん、この頃蘭子さん訪ねて來ることあつて？』

『あゝ、さう云へば蘭子姉さん昨日も一昨日も來なかつた』

『さう。あんた蘭子さんのお家へ行かなかつた？』

『うゝん、先刻お姉さまの用で行つて來たけど、蘭子姉さんゐなかつたよ』

『さう』

と答へたが、珠惠はハッとしたやうに顏色を變へたのだつた。

州内鹽に押され業者悲鳴をあぐ
滿洲醤油組合代表ら來京　けふ財政部に陳情

滿洲國の財政收入として大きな役割をもつ鹽税が關東州内では全く無税であり、しかも大連税關に於ける下級品の輸入税は極めて低率であるため州内無税鹽が最近どし／＼滿洲國に移入される結果、滿洲國の斯業發達を阻害するとともに日滿同業者の蒙る影響は甚大であり、今では業者の死活問題としてこれが改正方を要望されてゐるが、滿洲醤油味噌釀造組合長西巻豐之助氏らは二十二日夜奉天から來京

在京業者と打合せのうへ二十三日財政部を訪問してこの際至急税關査定價格の變更をなすべく組合の決議を以て縷々陳情した、その要旨は

滿洲國鹽税は百斤につき國幣六圓を課税せられをるも關東州内では全く無税であり之がため關東州内にて製造したる含鹽釀造物若くは製造物が滿洲國内に移入せられるに當つてはその含有鹽量に對し、鹽税と同額の關税を課するが當然である然るに最近大連税關では醤油が從價三割税なるため單に價格によつて税率を定めらるゝ結果、下級品の輸入税は鹽税に比較して非常に低率となり下級品になるほど非常な差異を生じ、これがため州外製品は到底これと對抗出來ず結局廢業の止むなき狀態にあり

といふので、今後含鹽製造物に對しては價格のみを税率の對照とせず、含鹽量による鹽税をぜひとも考慮に加へられ鹽税と同額の輸入税を課するやう願ひたいといふにあり、日滿同業者をあげて猛運動を開始するに至つた模樣である

て激突の上にあつた木製書類箱の中から金二十四圓を强奪いづれにか逃走した屆出により首都警察廳は管下各署附地日本側警察署に犯人逮捕手配をなし捜査中であるが未だ逮捕に至らない犯人は二十日新發屯を襲つたのと同一のものと見られてゐる

燕春茶園事件で日系官吏二名收容
連累者續々摘發か

燕春茶園を繞る醜事件は新市街憲兵分隊の峻烈なる取調べのメスは俄然首都警察廳司法科に及び二十二日夜に至り司法科鑑識股長、同捜査股小澤の兩名は新市街分隊に收容された、これにより日系官吏の連累者は續々摘發されるものとみられてゐる

豆腐屋の强盜　捕はる

本月八日頃南關滿人豆腐屋を襲つた强盜犯人逮捕につき首都警察廳司法科は連日捜査中であつたが二十一日正午頃城内市場の盛り場で擧動不審の男を捕へ嚴重取調べると長春縣双城堡生れ羅振升（二五）で南關を始め市街の附近を荒した犯行の一部を自白した、これによつて連累者も近く逮捕されると見られてゐる

大忠臣を偲ぶ
六百年祭の前景氣
これは各方面から參加續出

鎌武中興の聖雄大楠公六百年祭はいよ／＼二十五日午後正七時から記念公會堂で擧行されるが、當日は大法要、記念講演などについで、新京日滿藝術協會糸井光彌一座の楠公劇が無料公開されるので非常な人氣を呼び既に團休申込として地方事務所、沱家屯地方事務所、少年團、祝區民、女學校、各小學校職員その他約千名にも上り、當日はさきの建國祭以上の盛儀を豫想され、これが爲に會場外大衆のためには特に擴聲機を備へつけることになつた、なほ楠公劇は眞山青果氏原作、櫻井驛の父子訣別で一幕二場、出演者も主催者側も多大の犧牲を拂つて上演するものであるから、ぜひ見逃がしてならぬものである

ハコヤ稼ぐ
あらうといはれる

本籍大阪市生れ城内小五馬路居住無職森松德三（四十）はかつてダイヤ街都席で箱屋をやつてゐたのを奇貨とし都席藝妓民也こと富松靜枝が十七日より吉林へ行き不在中勝手知つた同人の部屋に侵入し衣服七點時價百五十圓を窃取入質飮食に費消したこと發覺屆出により二十二日新京署井上刑事が寢込みを襲つて逮捕した

木氏の不在を奇貨とし時價三百圓のオーヴァー一着窃取逃走城内六馬路天寶當に十圓で入質し二十二日午前十一時頃城内の藝妓をつれて客馬車にて領事館前を通行したとの情報により新京署谷本刑事は直ちに西公園、活動寫眞館を捜査したところ圖々しくも帝都キネマに這入り藝者の膝枕で活動見物中を逮捕した

居候の惡事

山口縣萩町生れ市内三笠町四丁目四十四番地無職太田吉藏（三七）は本月十五日備後洋行を解雇され、友人の夏木茂方に食客中二十日午前九時頃夏

興安大路に　四人組强盜

新京興安大路興安橋先滿鐵廏線用地丸山組苦力頭魏學賢方へ二十二日午後八時三十分頃四人組（内二人小型拳銃所持一名棍棒所持一人は表で見張り）强盜が侵入し魏を脅迫し

電業の全新京合体　昨夜圓滿解決
解釋上の疑義を解く

電業公司の投じた野球部の獨立は俄然新京を初め全滿球界の問題と化したがその後全新京源川監督、滿洲國古海監督並に電業原口野球部長、青木監督等がさきに大和ホテルに集合し協議を重ねた結果電業は全新京に合体し且つ將來は獨立を認めることに決定したがその後双方で合体の見解を異にしたので全新京、電業との間に面白くない空氣が流れてゐたのでこれが解決をはかるべく二十二日午後六時から富士町新京劇烹に全新京吉村野球部長、鯉沼常任幹事、野村會計幹事、山口、柴屋兩幹事、源川監督、藤戸主將大塚マネージャー、電業原口野球部長、青木監督、森川マネージャーが集合し協議の結果双方ともに言分があつたがそれでは圓滿を計ることが出來ないので双方折合ひ結局電業の獨立を認め新京倶樂部（全新京）に合体することに決定し、圓滿解決を見ることが出來た

魚屋の一部　入船町へ引越し

既報吉野町市場では吉野町に面した八軒店舖は既に入船町の假市場に引越したが魚屋の分は一部分が二十三日入船町に引越し（朝刊に二十六日とあるは誤報）後の一部分は現在の場所で引續き店を開くと

在滿軍慰問の　豐橋市代表來京

在滿軍隊慰問を兼ね滿鮮產業視察の爲朝鮮經由渡滿せる愛知縣豐橋市民の代表丸地、田中、大澤、田島の四市會議員並に長谷川市官吏は廿二日午後六時三十五分滿鐵線で在京縣人多數の出迎へを受けて入京し、直に中央ホテルに入つた、一行は廿三日吉林を視察し一旦歸京、廿四日新京發ハ

鐵道防衛本部　準備打合せ

新京防護團鐵道防衛本部では防空演習準備のため毎日鐵道出張所會議室で打合せ會を開いてゐるが二十五日から演習期間中毎日午後三時から通絡統制を期するため古川委員長始め各驛、區長及び新京線區司令部の代表者集り打合せを

街の日記

縣人會賑ふ

岐阜　在京岐阜縣人會は來る二十五日午後正六時から東三條通り賓宴樓で春季總會を開く會費は金三圓當日持參

新潟　新京新潟縣人會は二十六日西公園潭月池畔で縣人家族大運動會を開催時刻は午前十時から

佐賀　在京佐賀縣人會は二十六日午前九時から西公園海軍記念碑前で春季大運動會を開催する

三重　在京三重縣人會は二十六日午前十時から西公園内夕陽ヶ丘で同縣人家族園遊會を催す

台灣台北州物產　展示試賣會

台灣台北州の物產展示試賣會が二十三日から二十五日迄市内祝町太子堂で開かれる、重なる出陳物は珊瑚、藤製品、台灣木パママ、梓製品、蛇は製品、漢與製品、ステツキ類紅茶、烏龍茶、ポンカン、水牛角製品竹細工、筍鑵詰、鰹節その他いろ／＼

首都警察署長會議

首都警察廳管下定例署長會議は二十三日午前十時より首都警察廳會議室にて開催出席者首都警察廳各科長管下各署長消防署長等にて滿洲國の治安取締其他につき協議した

長岡總務廳長　新任披露宴

滿洲國々務院總務廳長長岡隆一郎氏就任披露は二十二日午後六時半から新京ヤマトホテルで催されたが日滿各界の代表百數十名參會、宴酣なる頃長岡氏の挨拶、新國務總理張景惠氏が來賓を代表しての謝辭があり、主客交々杯をさゝげ祝福覺いで歡談八時過ぎ盛會裡に散會した

宮川春吉氏慰問

全滿軍警慰問のため來京中の宮川春吉氏は二十三日午前八時半より新京署演武場に於て得意の浪花節水戸黄門漫遊記を一時間半に亘つて語り署員を喜ばせた

けふの錢相場

國幣對金票	一〇四五
鈔票對金票	一三九六
國幣對鈔票	八〇四〇
現大洋對鈔票	一三二〇〇

大倉恒吉氏　釀造界を視察

銘酒月桂冠釀造元大倉商店社長大倉恒吉氏は同社取締役濱崎秀氏らとゝもに二十二日來京、國都ホテルに滯在中だが一行は同日關東軍司令部に南司令官を訪問敬意を表し、二十三日吉林往復、二十四日哈爾賓に向ふ豫定で、歸途奉天に立寄り同地の釀造界を視察することになつてゐる

加藤五段指導

滿鐵本社柔道教師加藤五段は新任挨拶のため二十四日正午來京同日午後四時から商業校道場で滿鐵社員並に市中の同好の士の指導に當る事になつた同好の士は多數參加されたい、なほ新京署伊藤教士を初め中學校山岡、商業藤原兩教師が出席する

ルピンに向ひ同地視察の上佳木斯に向ひ豐橋を原隊とする田村部隊の勇士を慰問し六月上旬奉天、撫順、旅順、大連を經て海路歸國の豫定である

今明日中に　二回斷水

今晩十一時から午前二時まで和泉町二丁目、露月町二丁目羽衣町三丁目一帶は水道制水辨の修理のため斷水、明日は午後十一時から二時まで羽衣町、錦町の三丁目同じく斷水各位御注意ありたいと

帝都空の異變　二錢銅貨大の雹降る

【東京國通】廿一日大降雹に脅やかされた帝都に廿二日又もや空の異變が訪れた、五月晴れの美しい空は午後一時半頃から暗澹たる空と化し全く雨となり殊に同二時廿分頃から淀橋方面には前日にまさる二錢銅貨大の雹が約十五分間に亘り降り續きガラスを破り樹木の葉をふるひ落す等相當の被害があつた

つちふる會例會

つちふる會五月第二例會は二十五日土曜日午後七時から曙町四丁目十四ノ三南方で開催兼題夏めく、更衣、通五句

明法二回戰延期

【東京國通】明法二回戰は驟雨の爲延期となつた

開戰より最後まで忠勇の誠
當時二等水兵　宮木嘉久二氏談

敵艦隊見ゆ、我は朝鮮海峽に向つて進行するもの如く——哨艦信濃丸からこの無電を受け取つたのは五月二十七日午前四時四十五分、いよ／＼日本海の大海戰は火蓋を切られるのだ、皇國の興廢は實に此の一戰にある、恐らくこの時ぐらゐの興奮を感じたことは一生を通じてないでせう、それを聞いた我々士卒は嬉しくてたまらない、一同雀躍として起きるや否や出動準備に取りかゝり折角滿載した石炭はタンク以外のは全部海中に投げ棄てる、殊に木製の火災の起り易い物は悉く棄てゝ了つたそれから我が富士艦の乘員は殘らず上甲板に整列し艦長松本知大佐の訓示を聽き祝盃を擧げ皇國の福祉を祈り萬歲を三唱して各自の配置に就いたのであります、東郷司令長官はこの早朝大本營に打電して曰く——敵艦見ゆるとの警報に接し聯合艦隊は直ちに出動之を擊滅せんとす、本日天氣晴朗なれども浪高し——と、この「天氣晴朗なれども浪高し」といふ言葉の中には實際の敍景の外に我が艦隊は平素浪の高い荒海で射擊の訓練を積んでゐる——そのことを陛下はよく御承知しておいでになるので、東郷大將はこの雷報の中にけふの戰鬪に我が射擊はきつと平素の訓練通り命中するといふ意味を暗示されたものだと聞いてゐます

◇

この日天は風を呼び浪怒るといふ淒慘な日で私などは上甲板に居りましたが潮が打込んで來て上衣が濡れた位です——斯くて午後一時四十分ごろ靄の中から僅かに敵の艦影が見え出し我が信濃丸、和泉の二艦が誘致しながら進んで行くのも見えます、又無線電信が絕えずかゝつて來て敵艦の進路やその勢力、陣列等が殘らず判りました、既に艦影を認めるや敵は攻擊を開始しましたけれども我が軍は打たないも無駄にしてはならぬといはれてゐたのでこの時なども射擊命令を今か／＼と待ちながら「お願ひだから眞直敵艦に命中して呉れよ」と砲彈を撫でながら拜んだものでした

◇

おゝ見よ！旗艦三笠の檣頭高く戰鬪旗がへんぽんとひるがへるつゞいて敷島、富士、朝日、春日、日進……其他我が全艦隊に一時に戰鬪旗が揭げられました、とみると旗艦三笠の檣頭高くZ旗が揭げられる——皇國の興廢此の一戰にあり、各員一層奮勵努力せよ——敵前八千米、時正に午後二時十分我が艦ははじめて試射の第一彈を放つたのである

◇

日本海海戰當時の我が聯合艦隊の陣容

▲第一艦隊

戰艦三笠、敷島、富士、朝日四隻△裝甲巡洋艦春日、日進二隻△通報艦龍田△その他巡洋艦、驅逐艦、水雷艇二十一隻合計二十六隻

聯合艦隊司令長官（旗艦三笠）　東郷平八郎大將
參謀長　加藤友三郎少將
參謀　秋山眞之中佐
司令官（旗艦日進）　三須宗太郎中將
司令官（旗艦笠置）　出羽重遠中將

▲第二艦隊

裝甲巡洋艦六隻△巡洋艦四隻△驅逐艦八隻△水雷艇七隻△通報艦一隻計二十六隻

司令長官（旗艦出雲）　上村彦之丞中將
參謀長　藤井較一大佐
司令官（旗艦磐手）　島村速雄少將
司令官（旗艦浪速）　瓜生外吉中將

▲第三艦隊

巡洋艦七隻△裝甲海防艦二隻△砲艦五隻△水雷艇十六隻計三十隻

司令長官（旗艦嚴島）　片岡七郎中將
參謀長　齋藤孝至大佐
司令官（旗艦橋立）　武富邦哲少將
司令官（旗艦須磨）　東郷正路少將
司令官（旗艦扶桑）　山田彦八少將

これに對し敵艦は戰艦八隻△裝甲巡洋艦三隻△巡洋艦六隻△驅逐艦九隻△其他合計三十八隻である、砲力も九インチ砲以上敵の四十五門に對し我が軍は僅かに十七門にすぎず

◇

宮木嘉久二氏は當時二等水兵第一戰隊に屬し戰艦富士に乘組、旅順港の閉塞、黃海の海戰、日本海の大海戰と開戰より最後までよく忠勇の誠を盡された人である、明治四十四年退役と同時に渡滿新京に來り今日に至る、現在吉野町一丁目に茶店を營み、在鄉軍人分會長、長勇會幹事等公職に盡されてゐる

八千代館の京千代、あの通り綺麗で奧ゆかしい醒なんか出すもんだから京千代後援會を作らうといふ議が持ち上つてゐる、これは會員を二十五人に限り月に一圓出して彼女を一日自由に遊ばせるといふ事業だそうだ▲扇芳亭に行くと同じ名の京千代といふのがあり、伏見直江によく似た容貌をもつてゐる、あれで十六の時に新京に來て今三年になるそうだから……

天氣と氣溫

明日の天氣　東寄の風薄曇

日の出	午前四時	五分
日の入	午後七時	六分
月の出	午後十一時	五十八分
月の入	午前九時	四十分

けふの氣溫　最高 廿三度五　最低 十三度二

新撰爆笑隊（上映禁止）

辰野九紫作　永田八浦關英太朗畫

現代篇 九三

ボーナス行進曲（九）

第五景　ボーナス成金

脇坂　隱吉
綾子

その他、圓タク運轉手、助手、通行人大勢。

時　興亞奉節の十日の夜——流石銀座は賑やかである。綾子がヘンやバスク帽子の圓タクで舗道を漫歩する後から、隱吉は各百貨店包とり／＼の包裝紙に包まれたお買上品を、やつとこさと持て、よちよちしながら彼女に遲れまいと汗だくである。

脇坂　綾ちやん、まだ何か欲しいものでもあるかい。

綾子　えゝ、もう五六百圓買はなきや私承知出來ないわ。

脇坂　はははは隨分慾張つてるね

綾子　でも、斯うい不景氣の時にうんと仕入とくのが買物上手といふものよ。

脇坂　そりや左樣だ。今夜は實に愉快だね。世間の奴がみんな馬鹿に見えて仕樣がない。

綾子　ほほほ、そのお馬鹿さん達があんたを見て笑つてるわ。

脇坂　はツはツは、笑ふ貴樣が可笑しいぞ——か。だけど、正直な話、重くて腕が拔けさうだよ。

綾子　序に自動車も買つちまひませうか。

脇坂　うん、よかろ……それまでは矢張圓タクで辛抱するさ。——オイ、ストップ！

（自動車停車。——東京驛でつなぐ。）

モボとモガとが
ステップ踏んで
モダン銀座を
ゴー・ストップ、
ゴー・ストップ！

（隱吉も綾子も圓タクの中で眠りこけてゐる。自動車は上野驛へ着いたところ。）

助手　モシ／＼、モシ／＼、お客樣、上野ですよ。——起て下さい上野へ着きました。モシ／＼……
二人ともよく眠つてやがる。

運轉手　構はねえから、そつちのモガの頭髮を引張つてやれ。

助手　氣味が惡いナ。ヘンに彼頭の方がザラ／＼しやがる。

運轉手　どれ、俺にも觸らせろ——モシ／＼お孃さん、奧さん早く降て下さい鼻をつまみますよ。

（二人やう／＼眼を醒まし、無我無中でがらんとした驛內に入る。助手追つて來る。）

助手　モシ／＼料金を頂きます

脇坂　あツ、左樣か、何程だ。

助手　一圓二十錢。

脇坂　よし、よし。——（ひよろつきながら心細くなつた懷中から渡す。受取つた助手の後姿へ）オイ、百貨店で買つた荷物は如何した？

助手　荷物？そんなものありません。（去る）

脇坂　ふうん。…なアんだ夢か

綾子　あら、あんた、もう汽車も電車もないのよ。

脇坂　えツ、そんな時間か。——あツ、成程、こいつアいけねえ。

綾子　困つたわね。ホテル？

脇坂　駄目々々。トテモそんな贅澤は出來ない。

綾子　一體、何程あるの？

脇坂　費ひ果して二分殘るだ…」

綾子　あら、いやになるわねえ

脇坂　お大盡の末路、夢の如しさ。一人前二十五錢の驛辨當ぢや如何にもならない。

綾子　ほんとねー—たつた一分ぢや賴られねえ……だわよ。仕方がないから運賃先方持で、百合さんの家にでも厄介になりませうか。

脇坂　今度は當方が……ェ

綾子　イツ子……」

脇坂　イツ香……

二人　いやぢやありませんか。

ラヂオ

二十四（金）　新京

（午前之部）

六、〇〇　神前體操（滿語）
六、一五　ラヂオ體操（大連）
引續き　入港船の御知らせ（大連）
六、三〇　初等滿語講座（大連）　講師　秩父固太郎
七、〇〇　初等日語講座（奉天）　講師　近藤喜助
七、二二　朝の音樂（大連）
八、三〇　經濟市況（東京）
九、四〇　經濟市況（大連）
一〇、〇〇　料理獻立
一〇、二〇　經濟市況（大連）
一〇、四〇　經濟市況（東京）
一〇、五九　時報（東京）
一一、〇一　經濟市況（東京及大連）
一一、四〇　ニュース（東京）

（午後之部）

〇、〇一　經濟市況（大連、引續新京）
〇、二〇　ニュース（滿語）
〇、三〇　建國體操（滿語）
〇、五〇　ニュース
二、〇〇　經濟市況（大連）
引續き　日用品値段（滿語）
二、二〇　成人講座（滿語）　關於日滿華之協和與大亞細亞主義（第四講）（奉天）　醒時報社長　張樹森
二、四〇　演藝（レコード）（滿語）
二、五〇　經濟市況（東京）
三、〇〇　ニュース（東京）
三、三〇　經濟市況（大連、引續新京）
三、五〇　ニュース
四、三〇　ニュース（鮮語）
四、四〇　演藝（鮮語）
四、五〇　ニュース（英語）
五、〇〇　子供の時間（仙臺）
童話劇　伊達の筍　小倉博作　ＨＫこども會
時　天正の初期
處　羽州米澤の或寺院
出て來る人々　梵天丸（政宗公の幼名）　片倉小十郎　老僧、外に小姓大勢
五、二〇　コドモの新聞（東京）　村岡花子
五、二五　氣象通報、番組豫告
六、〇〇　ニュース（東京）
六、二〇　政府公報（滿語）
六、三〇　講座「說滿洲帝國之財政」第七講　關於金融合作社與普通銀行　財政部理財司事務官　崔正儒
七、〇〇　千葉縣の夕　—千葉市教育館より中繼—

一、千葉市歌　落合榮一作詞　弘田龍太郎作曲　千葉市第一小學校兒童　ピアノ伴奏　蒲田きよ

二、俚謠で房總半島を廻る

（一）佐原囃子—佐原町—
（イ）さんぎり　（ロ）馬鹿囃子　（ハ）花三番　（ニ）猫ぢや　（ホ）津島　（ヘ）あんば
笛　齋藤仲之助
笛　米本源太郎
笛　塙文郎
笛　篠塚初太郎
笛　松崎昌三
大太鼓　石井保
小太鼓　佐藤良平
大鼓　篠塚新藏
小鼓　岡澤長太郎
小鼓　大八木金時
小鼓　金井金時
鉦　金井太三郎

（二）（イ）大漁節　（ロ）盆ぢや節　—銚子市—
唄　喜久代
唄　喜久松
唄　照葉
三味線　みね
三味線　長松
大鼓　よし子

（三）朝の出がけ—東金町—
笛　梅田市左衛門
唄　大森しゑ
唄　櫻井彥八
唄　土屋孫次郎
唄　小倉直吉
唄　遠山貫郎
唄　安田忠吾
唄　合志昴
唄　織屋榮三

（四）やんざ節　鴨川町有志

（五）安房節—北條館山町—
唄　桃川よね
唄　寺西きよ
三味線　助六
太鼓　みよし

（六）房州よいとこ—北條館山—　鳥矢忠部作詞　中山晋平作曲　小高喜郎作詞　山田榮一作曲
唄　助六
唄　メ龍
三味線　文香
三味線　鈴丸
太鼓　小萬
みよし

（七）サンチョコ節—鹿野山宿—
唄　今關きん
唄　平野ちゑ
唄　鈴木てる
唄　鈴木はな
唄　吉田あい
唄　花村よし子

（八）木更津甚句—木更津町—
唄　小辰
唄　花香
唄　メ太
三味線　小清
三味線　六助
三味線　きぬた

（九）ドント節　野口雨情作詞　中山晋平作曲　—千葉市—
唄　丸子
唄　小むら
唄　葉子
三味線　秀龍
三味線　小富
三味線　房奴
鳴物　すま子
鳴物　東子
小金
芳松

八、〇〇　浪花節—楠公記念—（大阪）　大楠公と杉本佐兵衛　行友李風作　宮川松安
八、三〇　時報、ニュース（東京）
八、四五　ニュース、經濟市況
引續き　氣象通報、番組豫告
九、〇〇　蒙古事情特別講座（滿語）「第二講」（蒙古語）　哈爾哈會商與蒙古人之自覺　蒙政部民政司長　壽明阿
九、三〇　舊劇（哈爾濱）　過關探母　唱　李丕珍　曲子義　李月譲　劉承弼　于松山　于恒濱　場面　外五名
一〇、〇〇　北滿の時間（露語）（哈爾濱）
一、講演　精神力及び技術の力　ポリソフ
二、レコード
三、ニュース

居住消息

轉居

▲中村繁氏（郡馬縣）花園町三丁目三十號ノ一へ
▲本田熊吉氏白菊町から錦町三丁目二十三番地平井方へ

死亡

▲藤岡榮槌氏（曙町一丁目十九番地）妻末さん二十一日午前九時十五分死亡

五月二十四日　金曜
四月二十二日　庚子　先勝　危　鬼宿

●一白の人　心身を勵まして働くときは難事も成るべし庚と辛と丑が吉
●二黑の人　力を量らず進み過ぎて却つて失敗を招く日甲と乙と丑が吉
●三碧の人　退縮せず萬事進んで効果あり但し細心なれ丙と庚と丑が吉
●四綠の人　動けば動くほど深みに落ち込む日注意せよ乙と辛と癸が吉
●五黃の人　働きの目に見えぬとも氣を腐らすこと勿れ卯と辛と丑が吉
●六白の人　努力を第一とし僥倖を願はざる樣にすべし乙と辛と丑が吉
●七赤の人　內を虛にして外にのみ走れば敗れを招かん丙と庚と辛が吉
●八白の人　意外の不利に陷る事あり總ての口入事注意甲と卯と丑が吉
●九紫の人　朝來一時の苦みを忍ぶ時は午後は大吉たり乙と丁と癸が吉

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞
朝刊
夕朝刊共十二頁

本紙定價 一部五錢 一ケ月一圓 ／ 廣告料 普通一行一圓三十錢 特別同二圓五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越内之介

清朝以來の老忠臣 羅振玉氏辭表提出

〝老齡よく監察院長の激職に堪えず〟とて

監察院長羅振玉氏は大同二年于沖漢氏の後を襲つて現職に就任以來監察審計要務に努力して來たが老齡激職に堪えず二十三日張國務總理大臣宛辭表を提出した、張總理はこれに對し極力慰留したが羅氏の辭意固く、結局實現するものとみられる

品川監察部長も辭任 後任は永井四郎氏

羅監察院長の辭表提出と共に同院監察部長品川主計氏も辭意を決し羅院長のもとに辭表を提出した、同氏の辭職は實現するものとみられてゐるが後任として來京中の現龍江省總務廳長永井四郎氏が内定した模樣で永井氏は二十一日午前八時三十分飛行機で急遽チチハルに歸任した

羅振玉氏の略歷

羅振玉氏は浙江省紹興府上虞縣の人、江楚編譯局主任、學部參議、京師大學堂監督を經て新國家の創建に遭遇、參議府參議を拜命大同二年七月于沖漢氏の後任として監察院長となり今日に至つたものである、同氏は清朝の遺臣で、金石學の大家、菊作りの名人として知られ皇帝陛下の天津寓居中は終始側近に侍つてゐた人で皇帝の信任は殊のほか篤く今回の辭任は各方面から惜しまれてゐる

軍政部大臣 事務引繼は五月末

軍政部大臣の事務引繼は于新大臣が第一軍管區司令官の後任決定後奉天にてその引繼をなした後行ふ豫定であるから本月末となる見込である

于大臣 廿七日正式赴任

于芷山新軍政部大臣は特任式を了へ廿二日夜歸奉したが同大臣は廿七日午後一時五十二分奉天發あじあにて正式赴任の筈である

參議連の淨月潭行

滿洲國參議胡、增、田邊、矢田、筑紫の五氏は廿三日午前十一時阮文教部大臣並に國都建設局員の說明で國都唯一の水鄉淨月潭貯水池見學がてらのピクニックを行つた（左二人目より）增參議、阮文教部大臣、矢田參議（右端）胡參議（右三人目）筑紫參議

謝初代駐日大使 けふ正式發令か

國內手續も既に完了

滿洲國政府では日滿兩國關係の重大性に鑑み駐日公使館を大使館に昇格せしむる方針に決し去る二十一日、日本政府に對し正式申出をなしたが同問題につき廣田外相は二十一日の閣議終了後林陸相と打合せを行つた結果日本政府としては欣然滿洲國政府の申出を應諾することゝなり、廣田外相は南駐滿大使に訓電を發しその旨滿洲國政府に傳達した、よつて滿洲國政府では國內的手續を了したので、いよ〳〵大使館昇格は實現することゝなり同時に謝介石參議の初代駐日大使の任命も本日中に發令されるものと觀測さる

下院を通過した 英空軍大擴張案

軍用機千五百機整備へ

【ロンドン廿二日發國通】英國下院はボールドウイン樞相より空軍大擴張案に就き政府の決意が表明されたに對し各派領袖より質問あり討議の後勞働黨より提出された反對動議を票決に附し三百四十票の壓倒的多數を以て右反對動議を否決した、斯くて英國政府の空軍擴張政策は下院の全的支持を確保するに至つた、因みに今回の英國空軍擴張案は軍用機千五百機を整備せんとするもので英國空軍は現在より一躍三倍に達する事になる

昨夜着滿した 滿洲里會商 外蒙代表

直ちに兩國代表會見

【滿洲里國通】昨朝九時到着の豫定であつた外蒙代表一行はチ鐵國際列車十一時間の遲延のため一行の來滿は昨夜八時頃となり、直ちに滿蒙兩代表の挨拶が交はされる樣手配が進められてゐる、會議場たる北滿ホテルの屋上には初夏[illegible]兩國旗が初夏の薫風に翩翻とひるがへり、國境の町滿洲里に平和の空氣をみなぎらせてゐる、玄關を入つて右側三番目のこぢんまりした室が歷史的滿蒙會議の行はれる室だ、室內南側に兩國旗が靜かに交叉され之に直角に四列のテーブルが綠の羅紗に包まれて並んで居る、國境に向つて左側の二列が蒙古側、右が滿洲國側の席である、室內は南北兩方の窓から明るい光線を充分に受けて落付いて會議するには如何にも相應はしい、必ずや此の据り心地の良い會議室から東洋平和の光明が生み出されるであらう

林陸相出迎へ 侍從武官派遣

今日あじあで大連へ

滿洲國皇帝陛下には林陸相兼對滿事務局總裁の來滿に當り畏くも[illegible]侍從武官を勅使として御差遣遊ばされ出迎へさせられる事となり[illegible]侍從は二十四日午前十時發あじあで大連に赴く

西尾參謀長等も 同時に南行

林陸相兼對滿事務局總裁の來滿に當りこれが出迎へのため關東軍より西尾參謀長、[illegible]、滿洲國側から[illegible]および總務廳長代理として大達次長、于軍政部大臣代理干琛上將等は二十四日午前十時發あじあで赴連する

地政確立を期する 全滿土地科長會議

王道政治具現への一步前進

來る六月下旬、滿洲國中央土地局で全滿土地科長會議を開催、土地制度確立のため、全面的に討議を行ふ事になつたがその眼目とするところは

一、地政の根本政策を確立すると共に地稅負擔の公正を期す
一、所有權の範圍を確立之に適切なる保護を加へる
一、土地に關する紛爭を絕滅せしめる
一、土地の需要價値を增進せしめ國民經濟の進展を圖る
一、政府百般の行政に各種の便宜を與へ國家行政の永久的發展性を基礎づける

等であり地政確立による王道政治具現の基本的工作に新紀元を劃するものとして其の成果には多大の期待が懸けられてゐる

日滿貿易に貢獻大ならん

＝赴城の孫大臣車中談＝

【奉天國通】財政部大臣孫其昌氏は京城に於る日滿稅關細目協定正式調印の重大使命を負ひ胡秘書官、永井關稅科長等を帶同廿三日午前十一時廿八分奉天通過ひかりで一路京城に向つたが車中語る

北鮮稅關協定正式調印は廿二日張外相と南大使の間に行はれたので右に伴ふ細目協定を朝鮮總督府と財政部との間に行ふ爲に出掛けるので正式調印は廿四日午前十一時（朝鮮時間）に朝鮮總督府總督室に於て行ふ筈であるが、新協定成立に依る北鮮經由荷物運轉並に通關事務は非常に圓滑に行はれ日滿貿易增進に貢獻するところ大なるものがあると考へる

古田總務司長 明日歸京

曩に嚴父逝去のため歸鄉中であつた司法部總務司長古田正武氏は廿五日あじあで歸任の豫定

中國日本視察團 長崎着

【長崎國通】中國江西省政府派遣の同省鐵道局長龔辯紛氏外十一名の日本視察團は廿二日午後一時上海丸で來朝したが雲仙觀光の後廿三日午後二時四十五分長崎發急行で一路東上した

一ケ所に 緬羊改良場

滿洲國では二十四日緬羊改良場官制および興安緬羊改良場官制の兩官制を制定（一）緬羊の飼養管理、蕃殖及改良、（二）種緬羊の配附、貸付及び獎勵（三）緬羊飼養の指導及び獎勵（四）羊毛、羊皮の調製及び加工（五）實習生及び見習生の養成を目的として朝陽縣および興安南省に國立緬羊改良場を設置することゝなつたがこれによつて日滿兩國の必要な羊毛の自給を圖り他面には國內農業經濟の向上を促進するものとみられてゐるなほ右改良場は前者を朝陽緬羊改良場と稱して實業部の所管に、後者は王爺廟興安緬羊改良場と稱して蒙政部の所管に屬するものである

カドガン英公使を 新駐支大使に

―廿二日正式發表さる―

【ロンドン廿二日發國通】英國政府は廿二日北平駐劄公使アレキサンダー、カドガン氏を新大使に任命した旨正式發表した

棉花協會の 本年度 種子配布

作付面積一萬町步を增加

滿洲棉花協會では本年度は作付面積一萬町步を增加種子百六十萬斤を配布する事になつてゐる、而して昨年度の作付面積は奉天五五、八四六町步、錦州二四、三六六町步、熱河一七、七〇〇町步、安東七三町步、總計八二、〇五六町步で實棉收穫一一八、二六五、四二九斤に及びこれを大同二年棉作協會設立當時の作付面積四萬町步、實棉收穫八千萬斤に比すれば僅か三年目に拘はらず素晴しい躍進振りで二十ケ年繰棉二億五千萬斤（繰棉は實綿收穫の四分の一）計畫も豫想以上の成績で完了するものと見られ棉花協會では遼陽、海城、蓋平、遼中、黑山、錦義、北鎭、興城、綏中、錦西、朝陽各縣の支部のほかに凌源、阜新、彰武、平泉、凌南、營口、臺安、新民に棉花指導駐在員を配置してゐるが本年度は更に技術員を增加すべく既に海城厚種圃に七名滿鐵遼陽棉花試驗所に七名金州農事試驗所に四名の十八名を實習生として派遣、本年中に實習を終へ技術員として各地に派遣する筈で各部門に亘る躍進は早くも各方面から注目されてゐる

阿野飛行士 バクダット出發

【バクダット廿二日發國通】午前六時四十五分バクダットに着いた[illegible]飛行士は休憩約三時間の後午前九時三十分、バクダット出發愛機[illegible]號を操縦して東方に向つて飛翔し去つた

閑話

州內が無稅、州外が有稅、そこでそれ相當の輸入稅が課せられて始めて均衡が取れるわけだが、それが全然取れてゐない▲之が現在滿洲國內に於ける醬油業者などの悲鳴を聞く所以だが鹽の問題は滿洲國政府としては大きな問題であり肝腎の業者が立つてゆかぬとあれば棄て置けまい▼元來鹽百斤につき國幣六元の課稅は高い安いを別にして、醬油として移入された場合は含有量に相當するだけの鹽稅を課せられるが當然である▼それが出來てゐないなどは甚だしき矛盾で、業者に取つての死活問題はもちろん牽ひては滿洲國內の醸業發達を著しく阻害することになる▼別に鹽稅の撤廢を主張するわけではなく要は現在不合理な稅關の査定價格を變更せよといふに止まるのだが、當局者に誠意さへあれば何でもない問題だ▼こうした問題は一日遲るれば一日いやそれ以上の不利を業者が蒙ることになるのであるから、思ひ立つたが吉日、その日からでも改めるだけの當局者の熱意が必要であらう▼吾等はいま業者の立場に同情するとゝもに、國內醸業助成の目的からいつて、早急善處方を財政當局者に極力要望したい

中銀週報

自五月十二日 至五月十八日

貨幣發行額	一四〇、六九〇、〇〇〇圓
增	[illegible]
準備	[illegible]
保證	[illegible]
鑄幣	[illegible]

人事往來

▲中野中佐（軍政部顧問）二十三日午前通過ハルピンへ
▲草場中佐（滿鐵顧問）二十三日正午發奉天へ
▲藤田少將（藤田部隊長）二十三日午後發公主嶺へ
▲桑原大佐（鐵道第〇〇隊長）同來京
▲佐野少將（飛行隊司令官）二十三日午後歸京

航空往來

▲小野正雄氏（陸軍少佐）二十三日午前ハルピンへ
▲永井四郎氏（龍江省總務廳長）同チ、ハルへ
▲中島資之氏（會社員）同ハルピンへ
▲藤田次郎氏（滿洲國中央銀行員）同圖們へ
▲網野常吉氏（安東縣[illegible]）同錦州へ
▲兒玉常雄氏（航空會社副社長）同奉天へ

社説

ソ聯に於ける民族文化建設 文盲退治の政治的意義

一

ソヴエート聯邦に於ける民族文化建設活動の跡はこの十餘年間にめざましいものがあり、その或るものは滿洲國に於ける文化の建設のために參考となるであらう。ここにはその要點をあげて若干の検討を加へることにする

二

革命前、ロシアの種々な民族の中で文學を解する者のパーセンテーヂを示すとチユヴアシユ人七、一%。タタール人一九、七%。マリー人三、三%。ドヴイアン人八、四%アルメニア人七、五%。タジク人三、九%。カザツク人一%ウズベツク人一、六%。ブリアート人八、四%。ウクライナ人一四%。キルギス人〇、六%。白ロシア人二、三%といふ如きものであつた。革命以後、讀み書きする能力を獲得するために執拗な努力が拂はれ、前掲のパーセンテーヂはウクライナ人に於いて四〇四%白ロシア人に在つて三八三%までも昂まつたのである

三

一九三〇年には次のやうに決議された。

「一九三〇—三一年に、ソヴエート同盟のすべての地域に於いて八、九才及び十才の子供のために義務初等教育を實施せねばならぬ。」

而してこれが實施には個々の民族及び民族州の特殊性、生活樣式、組織的困難及び相對的後進性が考慮されてゐるのである。

四

民族文化建設活動の重要な問題の一つに、土着語とロシア語との問題がある。革命前にはそれら諸民族に強制的にロシア語を學ばせてゐた。革命後、はじめて土着語による教育へと方向が轉ぜられた。このことも滿洲國に於ける文字、言語の問題に若干の參考となるであらう。

五

こゝに想起するのは彼らの先導者レーニンが言つた言葉である。曰く「文盲人は一切の政治の外に止つてゐる。彼は第一に讀むことを學ばねばならぬ。これ以外には如何なる政治もない。これ以外にはたゞ風聞、ゴシツプ、物語、偏見だけであつて、政治は存在しない」こゝに、文盲退治が政治的生活に占める重要な役割が明瞭に說かれてゐるわれらの王道國に於いて、かかる方向へ向つての用意いま如何？筆者は曾つての中華民國がやはり大衆文化建設に相當の努力を拂つた事實を知つてゐる。建國すでに三年を經て、われらはより一層の考慮と實行が國民大衆の文化的生活のために拂はれるやう望まざるを得ぬ。その成果によつてのみ、眞に安居樂業の完成は成り立ち得るであらう。

天皇機關說に關する 陸軍當局の見解（六）

帝國在鄕軍人會本部發表

然らば歐米流法學的研究のみを以て解釋し得ざる部分は何に依つて闡明にし得べきか、其答は一言にして謂へば我が國體の研究である、更に突込んで言へば、我が國體の根基たる天皇統治の本質を日本精神的に正しく認識することである、我が憲法は此天皇統治の正しき認識の上に於て始めて正しく解釋し得らるゝものなることを深く銘せねばならぬ、吾人は既往に於て、歐米流法學の考究に拂はれたるが如き絶大なる努力が同樣に我が國體の眞摯なる研究にも振り向けられ、兩方面相俟つて我が國體に即する研究が行はれたであらうならば、今更憲法の根本的解釋に就て論爭が行はれる樣な遺憾な現象も現はれなかつたであらうとさへ思ふ次第である

二、我が憲法は國體の根基たる天皇統治の大原則の上に立つ

我が憲法は其制定發布せられたるの日に於て始めて成つたものではない、天皇統治の大原則は建國以來の不斷の發展の裡に、不文法として傳承せられて居たのであつて、それが玆に成文法として發布せられたに過ぎないのである、尤も帝國憲法中には議會制度其他憲法發布に方つて始めて採擇せられたる諸制度の規定をも見るのであるが、之とても統治の根本思想に變動があつて生じたものではなく、天皇統治の大原則を現代の政治に顯現する爲、明治以來の世局の海運と國家の發展とに伴ひ玆に議會制度の採擇を適切なりとしたる結果、此憲法發布の機會に於て、其根本原則たるべき條規を揭記して憲法成文の大成を期せられたものと見るべきである、即ち、我が憲法は實に建國以來の天皇統治の大原則に依つて一貫せられて居るのであつて、此認識に誤謬があつては其解釋は正當なるを得ない

學者中往々此議會制度を以て、歐米諸國に發達せる我が國に曾て無かりし制度を採れるものなりと觀る者あるも、此等は我が天皇統治の眞義を理解せざるものである、即ち、歐洲に發達せる議會制度は其根本が民主主義思想に發するものであるに反し、我が憲法に認めらるゝ議會制度は飽く迄も天皇統治臣民翼賛の思想に發するものである、制度の形式に於てこそ彼の我に採るべきものを容れたりとは謂へ、其目的は即ち天皇統治臣民翼賛の實を擧ぐる爲に民意の暢達を圖らんとするに存する、之を誤る所に議會中心政治などとの民主主義的思想が生ずるのである

三、帝國憲法の解釋に用ひらるゝ法理論は日本傳來の人生觀、國家觀に基礎を置くものでなければならぬ

日本の天皇統治と、歐米各國に於ける統治の觀念との間には、既に「第一」に於て述べたる如く、其生じ來る人生觀及國家觀に於て根底的に差異が存して居る、故に大日本帝國憲法は日本傳來の人生觀、國家觀に基き考究せねばならぬのであつて、之が解釋に用ひらるゝ法理論も亦、日本傳來の人生觀、國家觀、法律觀の上に立つ法理論でなければならぬことは固よりである、即ち、吾人が嫌らずと爲す多くの憲法學說の有つ共通なる缺陷が、多かれ少かれ、我が國體に關する研究不十分なる爲歐米に生れ歐米に成長せる國家と我が國とは國の成立、統治の基本原理、國民の國體觀等に於て本質的に相違せるもののあるに想到することなく、一途に歐米に發達せる法理論を信奉し、之を基礎とし、之を鐵則と心得て、我が憲法の解釋を試みたることに孕胎することは寧ろ當然のことであらうか

四、國體の理論的研究の必要

敍上の研究態度を整へんが爲には、先づ國體の深厚なる講究が先決問題なるは論を俟たぬ所であらう、吾人は之が爲に國體の理論的研究の必要を提唱するものである、蓋し、吾人は之に依つて自已の國體信念を昂めると共に西洋學的理論に惑溺して國體を懷疑する一部の國民に對し、我が國體を一層明徵ならしむる爲、理論的にも十分の根據を有する國體の研究が必要であると痛感するが故である

抑々國體認識の究極は信念であつて議論ではない、但し信仰的に把握されねばならぬものである、併し、科學が發達し國民知識の一般に向上せる現時に於て、國民の總べてに對し、頭から信仰を强ひ神祕を信ぜしめんとすることは、或一部の者に對しては却つて國體の見解に對する不安と危險とを醸すやうな結果となるのではあるまいか、隨て、或者に對しては理解に依つて其懷疑を解くことが亦必要であると考へられる「國體は信仰であつて、之を理論的に研究するが如きは國體の冒瀆である」などと稱する者あるも、吾人は宜しく日本精神的に寬容なるべく而して又努力を惜しむべからず、吾人は、理論的にも亦大いに國體の本質を考究認識し、正しき國體の理解を誘導し、以て理論的にも信仰的にも搖ぎ無き國體觀を啓發普及することこそ、眞に國體を擁護するの途と信ずる次第である

上杉博士が其著「新稿帝國憲法」に於て

『……彼（現代歐羅巴國家を指す）に於て、其（國家法人說を指す）理論に缺陷あり其論據極めて薄弱なるも、國家法人說が說明上便利なるものとして歡迎せられたるは已むを得ざることであるとせざるを得ぬことを諒察すべきと共に、之を我日本國家の說明として用ゆべからざるの最も明々白々なるは何人と雖認むる所であらう』と論じある點は全然同感であるが、而も何故に博士自身の所說に於て學究の徒をして十分に納得せしむることが出來なかつたのであらうか、方便的學說を以て眞理を歪曲するは固より許すべからざる僞瞞である、併し、自ら信念を以て把握せる所のものを、理論の上に堂々たる論陣を張り、以て科學萬能の徒をしても眞底より翕然として納得せしむるが如き手段は無かつたものであらうか、當時に自由主義思潮もさること乍ら、吾人は此點に關し、多少の遺憾を感ずるものである

要するに、帝國憲法は天皇統治の本質に關する正しき認識の上に於て、且、日本傳來の人生觀、國家觀に基礎を置く法理論に依つて考究せられねば、正當なる解釋は得られざるものと信ずる、而して、天皇統治の本質に對する認識は、唯我が國體の深厚なる講究に依つてのみ、眞に國家的信念と爲すことが出來るであらう

讀者の聲 ◀中傷はとらず▶ 氏名住所明記の事

司法部の役人

次から次と日系官吏の醜世間の人は何と見るか女も惡い然し生きぬが爲めには三者に解せぬ苦痛もある婦人でさへ國防に立つ非常時司法部の某宿の女中をこゝの下宿彼方のアパートと連れ歩きそれは本人の力で惡い事ではないとしても朝夕の送迎に愛の巢迄役所の車を使用するは如何これで青年達滿人達を指導出來得るか此地は降つて湧きたる樂土に非らず勇士の尊き命の賜と云ふ事を考へてもらひたい（立腹生）

北鐵代償物資 極力廣汎に引合

椰子油は三菱商事へ

北鐵代償物資輸出契約の第一回成約の商品は昨年來南洋貿易會社其他に駐日ソヴエート通商代表部から引合ひ中であつた椰子油で輸出契約者は南洋貿易でなく、對ソ貿易の大手筋三菱商事會社である、その契約要項は數量二百キロトン、金額約十萬五千圓であり、これは極東露領に於いて最も欠乏してゐる、石鹼原料に使用されるがなほこの外鐵道車輛製作及び修繕用具、船舶用重油發動機、發電用電線類・船舶セメント等の重工業品乃至建設材料が三菱商事、三井物產住友電線、古河電氣、新潟鐵工所日立製作所、清水貿易、大阪鐵工所、大倉商事、淺野セメント等に引合はされて居り大豆、綿糸等の引合も出てゐるが、何れも一個所乃至二個所を對象とせず極力廣汎に食指が延ばされて居る

對滿主要電信回線增設決定

本年度中に完成

【京城國通】遞信局では對滿通信施設中左記主要電信回線を本年度增設に決定した

△京城新義州間回線を增設し滿洲電信電話會社施設の電信回線と連絡して京城、新京線を構成

△淸津、南陽間回線を增設して滿洲電信電話會社施設の電信回線と連絡琿津南陽圖們及新京方面發着電報の速達を期す

△平壤、新義州電信回線を增設滿洲電信電話會社施設の電信線と連絡して平壤、新義州及奉天を換續する電信線を構成

滿洲國辭令

吉林省公署屬官 佐佐木堯 給六級俸吉林省公署總務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 川井藤三郎 給月俸百五圓吉林省公署總務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 横山豁 同 川上爲行

給八級俸吉林省公署總務廳勤務を命ず（各通）

吉林省公署屬官 深谷壽之 給一級俸吉林省公署總務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 山田淸一 給六級俸吉林省公署總務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 山田國太郎 給六級俸吉林省公署民政廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 事當龍一 給月俸九十五圓吉林省公署民政廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 伊藤太 給八級俸吉林省公署民政廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 飯塚健藏 給四級俸吉林省公署民政廳勤務を命ず

吉林省公署技士 寺本勝夫 給七級俸吉林省公署民政廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 西村俊次郎 同 本鄕信雄

給六級俸吉林省公署警務廳勤務を命ず（各通）

吉林省公署屬官 大谷利三郎 給七級俸吉林省公署警務廳勤務を命ず

吉林省公署警佐 行本喜代一 給月俸八十三圓吉林省公署警務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 佐佐木高壽 給六級俸吉林省公署警務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 大瀨義實 給七級俸吉林省公署警務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 山口定次 給五級俸吉林省公署警務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 本後太郎 給八級俸吉林省公署警務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 庄子誠造 給月俸百十五圓吉林省公署警務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 齋藤三井 給八級俸吉林省公署警務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 岡田總一 給六級俸吉林省公署教育廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 神是俊 給七級俸吉林省公署教育廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 二宮基 給五級俸吉林省公署教育廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 岩間茂次郎 給三級俸吉林省公署教育廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 淸田正一 給六級俸吉林省公署實業廳勤務を命ず

吉林省公署技士 長畑久 給八級俸吉林省公署實業廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 大石義夫 給七級俸吉林省公署實業廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 山口銀三 給七級俸吉林省公署警務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 李福賢 給八級俸吉林省公署總務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 內藤重義 給月俸九十五圓吉林省公署總務廳勤務を命ず

吉林省公署屬官 松田進 給八級俸吉林省公署總務廳勤務を命ず

郵局屬官 東本丈夫 給八級俸

税務監督署屬官 針谷健次 奉天税務監督署勤務を命ず

税捐局司税 齊藤正治 新民税捐局勤務を命ず

税捐局司税 庄司良一 綏中税捐局勤務を命ず

税捐局司税 針谷健次 營口税捐局轉勤を命ず

税捐局司税 門口喜平次 復縣税捐局轉勤を命ず

税捐局司税 箕輪治 安東税捐局兼鳳城税捐局轉勤を命ず

税捐局司税 渡瀨太郎 遼陽税捐局轉勤を命ず

税捐局司税 太田孝太郎 臨江税捐局兼務を命ず

商況欄（五月廿三日後場）

金銀市況

●上海標金 前引 七六五、六〇 後寄 七六六、一〇 七六六、〇〇 歩 七六六、五〇 七六六、〇〇

●大連金鈔票 現物 一三九、四〇 寄 一三九、六〇 引 出來高 二六萬 五月二十八日限 寄 一三九、三〇 一三九、二〇 引 一三九、三〇 一三九、三三 一三九、五〇 出來高 二六萬 出來不申 六月十三日限

●大連鈔票銀大洋 現物 一三四、一〇 一三四、三〇 出來高 七萬

●奉天國幣對金票 現物 一〇四、八〇 一〇四、八〇 五月廿八日限 寄 九六四、五〇 引 九五四、〇〇 出來高 五〇萬

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回 賣 一四三、五〇〇 買 一四四、〇〇〇 第二回 賣買 第三回 賣買

▲倫敦向 第一回 賣 一志六片一六分五 買 四分一 第二回 賣買 第三回 賣買

▲紐育向 第一回 賣 四一弗一六分九 買 二分一 第二回 賣買 第三回 賣買

▲大連爲替 ▲上海向 一一四五〇 一一五〇〇 一一四〇〇 一一四五〇 一一三五〇 一一三〇〇 一一二〇〇

▲臺灣向 一一四〇〇 一一二〇〇 一一一五〇 一一〇五〇

▲阪神日米爲替 第一回 賣買 不變

▲阪神日英爲替 第一回 賣買 不變

株式相場

▲大連株式（短期） 寄 引

銘柄	寄	引
五品	一六六、八〇	—
豆鈔新	三三、一〇	—
錢新	三三、三〇	—
東新	一二一、七〇	一二一、三〇
日産新	九一、〇〇	九〇、五〇
鐘新	一二五、三〇	—
滿鐵新	六三、八〇	—
二新	一八、二〇	—

▲奉天株（短期） 寄 引 滿 ...

特産市況

●大連大豆 現物 優先 一八、三〇 一八、三〇 / 發込 四、六九 四、七〇 / 五月限 四、六六 四、六六 / 六月限 四、七二 四、七四 / 七月限 四、八〇 四、八〇 / 八月限 四、八三 四、八五 / 九月限 四、八四 四、八五

●同 豆粕 現物 一、五一〇 一、五一〇 / 五月限 — / 六月限 一、五〇五 一、五〇五 / 七月限 一、五〇五 一、五〇五 / 八月限 一、五〇五 一、五〇五 / 九月限 —

●同 豆油 現物 一三、五五 一三、五五 / 五月限 — / 六月限 一三、五五 一三、五五 / 七月限 一三、五五 一三、七〇 / 八月限 一三、七〇 一三、七〇 / 九月限 —

●同 高粱 現物 — / 五月限 — / 六月限 四、一四 四、一四 / 七月限 四、一七 四、一七 / 八月限 四、一〇 四、一〇 / 九月限 四、〇〇 四、〇〇

●哈爾濱大豆 六月限 一、〇八〇〇 一、〇七二五 / 七月限 一、〇九七五 一、〇九〇〇 / 八月限 一、一〇〇 一、一〇二五

●同 小麥 六月限 一、四七五 一、四八二五 / 八月限 一、三二七五 一、三二二五

新京取引所市況（五月二十三日後場）

●大豆 現物（一石値段） 定期（混合百斤値段） 寄 引 出來高

現物 五月限 六月限 七月限 八月限 ●高粱 四、一二〇 四、一二〇 一車 / 四、一二三 四、一二四 一車

●鈔票對金票 二十八日限 寄 一二八、五〇 一二九、三〇 引 一二九、五〇 一二九、四〇 出來高 三萬 二萬五千圓 十三日限

●國幣對鈔票 二十八日限 十三日限

手形交換（二十三日）

番	八〇、八五	八〇、九五
引	八〇、八五	八〇、九五
出來高	五万	五万五千
金票	三〇枚	三五、二五、二九九、九
鈔票	四枚	七五、七〇一、八〇
國幣	二〇枚	一四六、八六四四六

銘柄		
東新	一二一、〇〇	一二一、三〇
鐘新	九一、六〇	九〇、九〇
日産新	九〇、五〇	九〇、〇〇
大新	一六、六〇	—
五品新	二三、四〇	二三、三〇
豆甲	一六、二〇	一六、二〇
電乙	一三、四〇	一三、八〇
同新	六三、七〇	六三、七〇
滿鐵新	二六、〇〇	二六、〇〇
二拓	九、二〇	九、〇〇
東亞	六一、三〇	—
東興	六四、二〇	六四、二〇
日營	二六、〇〇	二五、九〇
滿毛	一五、六〇	一五、六〇

北滿

濱江省全縣に亘る衛生狀況を調査
事變前の醫療施設を撤廢
省衛生科、新資料蒐集に乘出す

【ハルビン支局發】濱江省警務廳衛生科では王道は醫療機關の整備充實をモットーに省下の保健醫療施設の完備を圖ることとなり、先づ從來の醫療機關の普及狀態が多く事變前の不徹底なる資料を基礎に行はれた調査であるのでこの程全縣下の衛生狀況の正確なる實數を得るため管下廿七縣一旗當局に對し左記項目につき詳細なる實情報告をなさしむることになつた

縣衛生狀況報告項目

一、一般狀況
1、地勢
2、氣候
3、人口
二、一般人民常食狀況
三、上下水道狀況（人民給水狀況及下水設備狀況）
四、衛生行政に就て（縣にて行ひ居る衛生設備狀況）
五、醫療機關に就て
一、醫療機關の名稱及所在地
一、右機關における醫師齒科醫師の數
一、右機關の設備（病床の有無）
一、產婆、看護婦の數
一、醫師の講習所
一、產婆、看護婦の講習所
六、阿片關係
一、零賣人の縣別統計
一、吸食者證下附統計
一、緝私成績
七、賣藥製造者、販賣者統計に就て（營業者の資格別、縣別賣藥許可方數）
藥品營業者の分布狀況（縣別、資格別）
八、衛生材料狀況（藥品衛生材料の供給狀況）
九、傳染病の統計報告
一〇、風土病の有無
一一、梅毒
一二、除穢（廢埃汚物處分淸潔法實施狀況）
一三、屠殺場
一四、其の他（特に共同便所、浴場、理髮店の數）

右項目の詳細調査を命じたがこの結果に基いて醫療機關と人口との比率を求め比率の大なる縣より漸次醫療機關の設置を行ひ醫療機關の充實による健康濱江省の建設に積極的活動をなす方針である

光武、三浦兩部隊討匪戰況

【ハルビン支局發】＝第〇〇團發表＝三月十六日趙尙志匪約五百が珠河縣西北方約二十粁の地點に出現せりとの情報に接し光武部隊は十七日午前二時行動を開始、十七日拂曉敵匪と遭遇し猛烈なる戰鬪を開始した、目下のところ戰鬪情況は不明なるも一等兵山口滋雄はこの戰鬪のため壯烈なる戰死をとげた

拉濱線山河屯東方約五里の地點において十九日午前九時半三浦部隊は老鳳林匪約百と交戰し之を擊退したが、之を追擊中系統、匪首不明の二百の匪團と遭遇し徹底的打擊をあたえた、日本軍は兵一名負傷した、敵匪の損害多大なる見込なり

北滿全校の學童作品展覽會
學業の啓發に資す

【ハルビン支局發】北滿に於ける就學兒童の學業啓發の目的を以て滿洲國民公論社ではかねて教育廳並に市教育科の後援の下に北滿全校學童作品展覽會の準備中であつたが十七日より外國頭道街元日本普通學校々舍で盛大に開會した場内は八室に分れ第一第二室は初級學年の圖書第三第四室は初級學年の習字第五第六室は高等及中等學校の圖書室で第七室は初級學年から中等各學校の手工藝室で第八室は入賞作品室となつてゐるが提出作品は全く我々の豫想だにもしなかつた程の優秀作品のみで殊に入賞成績品は全く專門家に等しい美事ものがある展覽會は二十六日まで開催されるが同社では之等入賞作品及佳作品には凡て社賞を附してゐる尙は入賞學童の凡ての點に優秀なる兒童を今夏內地見學に社費を以て行ふ由である之等の擧は學童知識開發と日滿親善の上に多大の効果的結果を與ふることであらう開會當日より入場者も多數にのぼり場内は滿員の狀況である

全滿土地會議に備へ不在地主の土地調査
濱江省の整理案着々進捗す

【ハルビン支局發】來る六月下旬、新京で開催される全滿土地科長會議は建國以來最初のことであり、それが幾久しく放置されて居た廣汎なる全滿地域の土地制度の確立を期する第一步の段階として各方面から多大の期待をかけられてゐるが、濱江公署では郭賓林土地科長がその中心となり各種の調査資料の蒐集整理にあたつてゐる、一方土地制度確立に備えて各縣に各種土地制度の調査を命じ省公署にその調査材料の報告をなさしめてゐるが、五月下旬その報告完了を俟つて具体案の作成をなす段取りである

而して土地會議と別に濱江省の土地整理案を仄聞するに、濱江省としては各縣に配置せる調査員と縣當局が協力して舊政權時代に施行された槍怨章程、及び不在地主の土地調査に目下全精力を傾倒してその內容調査を取急いでゐる

槍怨章程は未開墾地を無償で希望者に拂下げ之を開墾せしめ五ケ年を以てその所有權は開墾者に歸屬する規定になつてゐるが、濱江地區においては實績良好ならず有名無實の狀態にあり現今は實際的には中止されてゐるが地權の歸屬を分明ならしむるため既往の槍怨章程の實施狀況の內容調査にあたつてゐる

次に不在地主の土地調査が現在最も急を要する問題なので濱江省としては不在地主遺產管理暫行辦法を作成して之が整理をなす方針にして既に縣當局に之が具体案作成方を依頼した、今日まで東寧海倫兩縣よりは既に具体案を送附して來てゐるが、全縣よりの報告を俟つて省の規定を作成し省令として發表される筈である

不在地主の土地調査は單なる土地調査でなく農村復興の重大資料として之が完成は一日も早く待望されると共にその數字的に現れた面積とその活用は注目されてゐる

濱江公署の傳染病豫防

【ハルビン支局發】濱江公署衛生科では夏期傳染病流行期を控え傳染病豫防の宣傳ポスター（蒼蠅傳病圖說）二萬枚を作成五月中旬を期して省下に撒布大々的宣傳を行ひ、衛生思想の喚起をはかることとなつた

東滿

吉林輸入組合で購買傳票制度
消組への對策成る

【吉林支局發】過去半歲に亘つて揉みに揉んだ反消運動も新京諸官廳の斡旋調停に依つて圓滿なる解決を見たことは既報の如くであるが消費組合對策として當地輸入組合が豫て計畫しつゝあつた購買傳票が愈々六月十一日より市民にお目見得することとなつた之は消費組合最大の特徵をとつて傳票に依る掛賣りをなし買上額を割引せんとするものであつて組合員十四店に通用し官廳會社等のサラリーマンに利用せしめ勘定は組合に於て月末の俸給より差引いて四分の割戾しを爲すことゝなつてゐる

滿洲京都の宣傳ポスター

【吉林支局發】吉林日滿商工會が鐵路總局の援助の經費六百圓を投じて作成中であつた滿洲京都の宣傳ポスター一萬枚は此程ローカルカラーを表現した美事なものが出來上つたので、協會に三百枚を殘し外東京、大阪、下關、各鮮滿案內所、東京、大連、奉天新京各ツーリストビューロー朝鮮總督府、台灣總督府、北鮮鐵道、大阪、大連、北日本島谷汽船會社、滿鐵、鐵道部同上海事務所、奉天、洮南、哈爾賓各鐵路局等各地に發送し其配附宣傳方を依賴し協會に殘した三百枚は商工會議所總商會に百五十枚宛を分ち近く各會員に配附することになつてゐる

全滿電化の惠澤既に延吉に及ぶ
滿洲電業の大英斷

【延吉支局發】延吉電業公司の母体滿洲電業では全滿電化を目指して電燈料の大英斷的値下に乘出し、既にその直系は各地にて五月一日から一齊値下を發表し電化サービスの第一次的工作に需用家の福祉增進を圖りつゝあるが傍系延吉電業に於ても過般來輿論化しつゝある電燈料金の大量的値下を斷行することゝなりその認可を當局に申請中の處本月十六日附漸く認可書の送達を受けたので五月一日に遡り一齊値下をなすことゝなつた、右は供給規定の變更を意味するもので從量燈二割定額燈一割五分の値下で同公司としては年額約三萬圓の減收を來すものと見られてゐるが同公司は更に軍部との連繫を保つて保安、警備を徹底する間島の電化に努め圖寧縣沿線方面又は朝鮮對岸方面の新規點燈をも目論んでゐる模樣であるなほ今回の値下の要項は左の如くである

一、定額燈の使用を四燈以下の需用家に制限す
二、料金の直線制を塊量制と改める
三、門軒燈を定額の三割引となし街路燈と同樣にする
四、貸付電燈設備の使用休止工事手數料を無料にする
五、電動力をも塊量制とす

吉林監獄の死刑囚破獄脫出
大格鬪の末逮捕さる

【吉林支局發】二十一日午前零時と覺ぼしき頃、吉林城內滿洲國第一監獄に收容中の死刑囚一名重罪犯人たる有刑徒刑囚五名は共謀し監視者の服を盜んで監房の窓を破り丈餘の塀を乘り越えて逃走したことを程經て發見し、直に此を日滿各機關に急報し各機關總動員の下に全城內外に亘り水も洩らさぬ非常警戒網を張り搜查に努めた結果、同監獄附近にある滿人醫師曹某方の院內に潛伏中なるを偵知し、同零時半に三名を一時半に一名を、更に四時頃に至り同院內便所內に潛み居りし二名を即ち全部の逃走囚を首尾よく逮捕した

となり監房の窓を破つて外部に出で其邊に在つた板を塀に立てかけて先づ一人が塀上によじ上り用意のボロ切れを繋ぎ合はせた紐を傳ふて塀外に下り他も同樣の動作を續けて逃走したものである

鴨綠江の水路と水運に就て（一）

水に親しみを感ずる時が來た、この期に「朝鮮と滿洲の境のアノ鴨綠江——」の最近の水路と水運を紹介するのもあながち無意義ではなからう

一、水路の狀況

上流は本流では二十四道溝まで舟行可能であるが、支流渾江口より安東に至る百廿二浬の間が最も往來しきりである渾江の合流點附近は比較的肥沃な地帶であるため、舟揖盛んでまたその上流は入道溝まで舟揖の便利がある、上流の水路はその河床、水量の狀況により之を左の三區に分つて說明するのを便とする

（イ）安東—楚山間
（ロ）楚山—中江鎭間
（ハ）中江鎭—新　披鎭間

イ、この區間には灘と稱すべきものが約卅あるが、長さ一浬を超へるものなく、河床は概ね小石で處々に岩礁あるが多くは稜角なく船底を損ずる事が少い、水路の幅廣く流速も一帶に緩かである、そして滿洲より靉河長甸河、渾江、朝鮮側より豆滿江等の支流が合流し、水量豐に減水期に於てさへも淺瀨の水深なほ二尺內外を保つ

ロ、楚山—中江鎭間は一部を除く外河床は殆ど岩礁でその岩の稜角鋭く一浬以上に亘る岩礁連續の個所も少くない、瀨と稱す可きもの約百ケ所を數へその大半は淺瀨である、流速急で水路の彎曲多く幅員次第に狹まり兩岸は斷崖多く、朝鮮側より禿魯江、慈城江が合流する、安東—楚山區間に比して水量減じ、減水期には淺瀨の水深一尺五寸內外の個所隨所にあり兩岸は勿論中流にも岩礁露出しその露出せざるもの水面下一尺位の所に錯立して船舶の航行は全く困難且危險となる

故に舟は例年十月減水の度加はるにつれて貨客を制限して航行するが、やがて一部に航行不可能の個所が現出するのを常とする

ハ、中江鎭—新　披鎭間は前區と同樣河床は殆んど岩礁で航行には一層困難である瀨數も約八十個所に及び、水路の彎曲甚しく幅員は愈々狹く、流速加はり水深も著しく減じて減水時には僅かに一尺內外のところが往々數浬に亘る、ために減水期に入れば最も吃水の淺いプロペラ船でも尙且貨客を制限して辛ふじて航行する有樣で、例年十月となれば減水愈々甚しく遂に航行不能となる

鴨綠江上流の水路狀況は斯の如くであつて船航運航は困難を極め減水時には一尺內外の處に岩礁連續するので唯水巴と波形に依つて岩礁の間を縫航し分時も同一針路をとる事か出來ない、一に之は熟練の技に俟つべきものであつて更に豪雨强風或は太陽が前面より照る場合には操舵は一段と困難の度を增すのである斯樣な狀況にあるので運輸業者の蒙る損害は年々尠からず爲に數年來滿洲側の採木公司、航業公會、朝鮮側の營林署は破岩工事に力を盡し又建國後設置された安東航政局は最も主要水路である臨江下流の破岩工事に力を入れ業績見るべきものがある

結氷と解氷は年によつて遲速あるが安東附近では例年三月下旬に解氷し中江鎭地方は四月中旬、更に上流の新　披地方は四月下旬に至つては本流は悉く解氷する又結氷は新　披地方は十月下旬、中江鎭地方は十一月上旬に至れば江岸各所氷結し各船の舵索、循環水ポンプも凍結し航行漸く危險となり十一月中旬ともなれば安東地方もまた同樣の狀況となり各船は陸揚げ冬圍ひを始め玆に鴨綠江全流に舟影を見ないことになる結氷は極めて急速であつて一度低氣壓に見舞はれゝば數時間にして氷に閉込められ進退谷まることが稀でないので結氷期直前の航行には注意を要する

圖們魚菜市場株式組織に

【圖們支局發】市民の待望を受けて創立した圖們魚菜市場は開市以來繁盛を極め貸店舖もほとんど全部開店し毎日の人出萬を算へる盛況振りであるが當市場は資本金十萬圓の株式組織に變更することになり過般來株式募集中の處頗る好成績で滿株となり拂込みを濟したので去る十五日創立事務所に於て株主總會開催し重役、其の他の重要事項の決議を見た、社長には中村直三郎氏が滿場一致で就任し事務當務は近く開催の重役會議に於て互選することになつた、尙當日決定の重役は左の諸氏である

取締役社長　中村直三郎
取締役　安河內監吉、久東茂二太、金倘鎭、下釜寬治、千德元、中村五郎
監查役　山本萬次、岩井丑富士松

學藝

自叙傳の研究（一）

ミカエル、サドレア作　曾田博譯

凡そ自叙傳はその樣式によつて三の部類に大別することが出來る、その一はかの「懺悔錄」に於けるルウソーの態度を以てものされるもので、著者は神の面前にでも立つ者の如くに自已の善惡美醜を悉く有りの儘にさらけ出したものである、第二は材料を選拔して自已を批判するもので、ゲーテの自叙傳やワーズワースのプレルード（序言）の如きがこれに屬する、第三は自已をその環境との關係に於て眺めたもの、即ち一個人を通じて社會を批判するものである、ミルの自叙傳の如きがこの社會意識的自叙傳の通例である

最近皮肉にも時を同じくして公にされた二自叙傳、即ちジョンクーパーボウエイとH G、ウエルズの自叙傳がある

ボウエイのものは全然ルーソーの流れを汲むもので彼は容赦なく自己の醜惡なる姿を暴露し苦行者の如く己を苛んで快を貪つてゐる觀がある、併しボウエイは藝術家としての天才的閃を各處に於て見せ讀むものをして彼が非凡なる人間であることを敎へてゐる

ウエルズの自叙傳は前述の三樣式の特質を併せ有するがどちらかといへば第二、第三の部類に近いものである、著者は終始諧謔的卑下のポーズを持つて暢達なる筆を驅せてゐる

此の二つの自叙傳を中心にして自叙傳の研究を發表せるミカエル・サドレアの評論を紹介する

×　×

ジョン、クーパー、ボウエイとH、G、ウエルズの自叙傳が同時に出版されたことは皮肉な運命の致すところであると考へるのである

こゝに同じ國に同じ時代に生き、同じ民族の二人の男性がある、その二人は共に活動的な人であるといふより、知識的而も文學的興味を有する人である、彼等は自叙傳作者に相應はしく、一人の人間の精神を彼が養育された環境から捉へて來ることに苦心してゐる、その一人の人間の精神とは即ち彼自身の精神である

彼等はある意味に於て常にその時代の因襲と獨りよがりに對する叛逆人である、而して二人の精神が如何なる一點に於ても接觸するものとは考へ得られない、一方彼等の生活の背景、二人が描寫してゐる相次ぐ專心事並びに人類の社會の一員としての個人の目的に就て持つてゐる觀念を見ると二人はこれまで別々な遊星に住んでゐた人々であるか、若しくは造化の異つた種類に屬する人々でさへあるかと思はれる程に全然異つてゐる

この二人の唯一の相似とも言ふべきは二自叙傳に表れた所から見ると自ら好んで衒つてゐる種類の人ではないといふことである、而して二人とも得意になつてゐることである

防空講座

都市防空施設の問題

—第九講—

四、道路

一、防空機關の活動、一般交通特に避難民の移動を便ならしむる爲市の中央を基點として成る可く多數の路巾大なる放射道路及若干距離を關し之等放線道路を横斷すべき環狀道路を設く

二、前項主要放射道路及環狀道路の中間には更に距離間隔及交通の繁閑を顧慮し道路を設く

三、都市の形狀等に依り放線道路及環狀道路網を編成し得ざる場合にありても避難交通防護に便なる如く成る可く多數の路幅大なる縦貫及横貫道路を設くること

四、路巾は兩側建築物の倒壞に際しても市民の避難及軍隊の行動を妨害せざる如く又火災防止の爲成る可く廣くすること

五、道路は交通避難を便にし且つ瓦斯の滯留を避くる爲袋道を避くること

六、道路には成る可く兩側に植樹を行ひ步道を區劃し火災の防止に努め且つ路面は成る可く毒物を吸收せざる材料を以て鋪装すること

七、主要なる道路は成る可く傾斜に沿ひ且つ其軸線を恒風方面に豫定し以て毒物の清掃に便ならしむると共に洪水に依る洗滌に便ならしむ

八、主要道路は可成大なる空地殊に天然若は人工的貯水池の在る地域を通過せしむるを可とする

九、道路の交叉點は特に路幅を大にし要すれば小公園を設け以て交通を便にし且つ避難民の雜沓を防ぐ樣設備すること

十、道路及其下部の地下埋設物地下鐵道等を保護する爲成る可く厚き「コンクリート」を以て鋪装の基礎を構築するを必要とする

十一、阻塞氣球の移動を容易ならしむる爲路上には架空通信線を架設せしめざるを可とす

戰時阻塞氣球を使用する公算多き地域は特に此顧慮を必要とする

「以上に對する研究並に對策」

滿洲各都市の新市街區並に新に計畫せらるゝものは概ね右の要求を取り入れあるも舊市街殊に滿人街は未だ此趣旨に添はざるものが多い將來防空智識の普及と相俟つて逐次改善する必要がある

水道、瓦斯管等を初めとし將來は地上の通信線、動力線等は逐次地下に埋設せらるべきものであるが之を防護する爲如何なる掩護層を設くるかは研究問題と思ふ、若し過度に深く地下に埋設するときは大爆彈に依つて破壞された場合に之を修理することが困難となるのみならず大工事を要する地下鐵の穹內に收容することは最も理想的であるが利用に制限がある、結局中小爆彈に對して掩護するを旨として築設すべきではないかと思はれる但し重要な致命部は是非大爆彈に對しても防護すべきである如何なる物件を以て掩護層を構築するか及如何なる部分を特に掩護すべきか等は現地に於て夫々研究すべき重要事項である

五、公園及空地

一、都市には成る可く多數の大小公園及空地を設け以て火災其他の災害を局限し或は市民の避難所に利用し又は高射砲高射機關砲（銃）阻塞氣球等の陣地に使用する

二、避難所として利用すべき公園には天空に對する遮蔽火災防止の爲成る可く多數の耐火性樹木を以て掩はれること必要なり但し瓦斯攻擊に對しては森林內は永く瓦斯を滯留せしむる不利がある公園內に豐富なる池水殊に多數の噴水を有するときは消火に利用し且つ瓦斯の消毒にも有效である

三、高射砲中隊の爲には二〇〇米平方以上の空地が有れば足るも其の周圍に高層建築物ある時は築造物に最も近き砲車をして之と三十度以上の射界を與ふ爲に築造物より隔離せしむる必要がある

四、阻塞氣球の陣地の爲には中徑五〇米以上の圓形の空地を與ふれば可なり

五、主要道路の交叉點等には空地を存し避難民の混雜を防ぎ交通整理を便にし且つ其廣大なるものは防空機關の陣地として利用する

「以上に對する研究」

公園空地を避難用に利用する爲には樹木等天然遮蔽物に依頼する外人工の避難所を所々に構築し置く事が必要である而して之等は平時市民の避難教育用に使用すれば一層有效であると思ふ

砂層 0.20×0.20　2重板 0.08×0.22　鉄筋「コンクリート」　砂利

2重板 0.08×0.22　板張　軌條又ハI形鋼　鉄筋「コンクリート」　砂利

◇漫筆◇ 記念公會堂と興行（四）

眞殿星麿

興行の內容

序でに記念公會堂に於ける興行の內容に就て少しく檢討を試みる、一月以來滿四ケ月間の興行の數は百六日で、內映畫四十五日演藝物五十七日、拳鬪四日である、之で見ると映畫が比較的多くの日數を取つてゐるが、之は一月十三日、二月十四日、三月十日、四月七日と漸次減少し、殊に四月中旬以後は一日もなく五月の豫定にも映畫は皆無で、其の代り演藝が增加してゐる、之には色々理由もあるが要するに新に帝都キネマが開館されて映畫に關する限り必ずしも公會堂を利用する必要がなくなつたことが最大の原因と看做される、それと同時に內地方面より各種演藝が解氷に連れて續々新京を目指してやつて來る、そうして昨年迄は大連が滿洲の中心で彼等は先づ大連に於ける興行の日取りを定めそれから沿線各地を決めて居つたのが、今年からは新京の日取りを先決とするに至つた記念公會堂で二日又は三日の日が取れるか否かに依つて內地演藝家の滿洲巡業が決定する狀態である、それ故五月の如き映畫が皆無となつても尙ホールの申込みは毫も緩和しない

更に演藝物の內譯を見ると、浪曲が一番多くて十六日、次が演劇十日、萬才六日、歌劇五日、音樂五日、奇術三日等で、外に漫談、琵琶、講談、舞踊、義太夫、溫習會等がある

又等しく興行の中にも興行師の手に依る純興行と、公共團體の基金募集の爲にする興行とがあつて、後者は十九日であるから、之を月割にすると五日になるが、觀客側から見れば主催目的の如何は餘り問題でない、入場者は三、四月共約二萬二千人で興行日數二十四日で割ると一日平均九百人となるが、有料入場者の數は七百人位でないかと思はれる、入場料は一圓乃至一圓五十錢が普通のやうである

其處で娛樂費の問題に一寸觸れて見る、昨年一ケ年間の大連に於ける興行物の觀覽料は七十四萬五千八百圓で觀客數二百七萬六千人、一回の料金は平均三十六錢となつてゐる日本人人口十三萬人の一人當りにすれば一ケ年娛樂費は五圓七十六錢である、之に比して新京は如何か、私は未だ當地の統計を調べて見ないからよくは判らぬが、一概に遙に高いやうである、之は映畫館や興行師が暴利を貪るといふ意味ではない、料金の高い興行計りあつて安い興行がないと云ふのである、大連でも一流映畫館の入場料は八十錢乃至一圓が普通であり、當地の料金はそれに比して高くない寧ろ他の物價の指數から見れば安いとも云へる、けれども大連には同時に二十錢、三十錢の興行が常にある、二十錢時には十錢で一晩ゆつくり樂める機會があるのに、新京にはそれが全くない、一寸映畫を見やうと思つても普通八十錢家族連ならば馬車賃を加へて二圓乃至三圓はかゝる之ではおいそれと出掛ける譯に行かぬ、而し現在の常設館にもつと安物興行をせよと言つてもそれは無理であらう、記念公會堂開館當時此問題は市中有識者に依つて考へられたらしいが、實行に關する研究の足りなかつた爲か、何等結果の見るべきものはなかつた、公會堂に於ける興行に映畫が少くなつて演藝物が增加する觀覽料は更に高くなつて來るである、しかしそれでは市民は益々娛樂費の增加に苦しむことゝなる、記念公會堂が出來て入れ代り立ち代り有名無名の演藝家が新京にやつて來るが、そう／＼市民はやう見ないと云ふ結果になる、之は興行者に取つても致命的の打擊である、それには如何すればいゝか

マラソン大會雜記（上）

岡建次

日滿無言の融和

第一區で大連の北本君は奉天の宋君と先途を切つて早くも他のチームを千米引き離し最後に百米あまり宋君に勝つた、第二區の奉天選手唐國士君は流石に全滿人切つての第一流の走者であるだけフォームも見事に悠々と大連の村岡君を拔き去りこの邊り全く本大會の山であり新京市民諸君に見せてあげたい接戰であつた

第三區の大連走者は名にし負ふ志水政市君でこの春の旅順大連マラソンの優勝者である、足並輕く駈け出して前に行く奉天の走者王君を拔き去ろうとした時、その時であつた二人の視線がチラッと出會つた刹那志水君は一寸頭を下げて言葉が通じたら「失禮」と云ふ態度を取つた、之に對して王君も默つて頭を下げて「結構」と云ふ處を無言の裡に返禮した

之を見て居た筆者は一寸目頭らが熱くなつた、この火を吐く樣な激戰の最中にも禮儀を忘れない志水君の心は以心傳心王君に傳つた流石にスポーツだと思はれた

日滿協和、日滿親善口頭禪の數はもう聞き飽きた、こうした純眞な青年の感激的場面の幾つかをつなぐことによつて日滿人の心はお互に廣くなるのだ

△

鐵嶺學校が途中棄權したのは惜しかつたが僅か四五日の練習で三里の道を駈け通すことは困難であつたらうただ新京から外に出るチームがないならば市の名譽の爲に打つて出ようと云ふその氣慨に對しても感謝してよい特に全校男女の生徒が南關に應援に出かけて來てゐる光景は可憐であつた

末永先生の話によると女學生は途中で選手に故障が出來たら何うするだろうと心配一通りでなかつたそうだから末永先生が普通なら皆が見て貰ふことの出來ない樣な立派なお醫者が附いて行くのだと云つて始めて安堵させたと云ふことであつた、役員は遲れた選手には自動車一台つききりで最後まで走らせたかつた

△

百二十キロ吉林をはなれて新京まで人家も稀れなコースであつた、沿道三四軒家の前に台に乘せた十四五の茶碗が伏せてある、その一つ一つに石が乘せてある始め何かと思つたら百姓達が何處で聞いたか今日のレースを聞き知つて心ばかりの選手への接待であると言ふことがわかつた

風速十四五米の烈風に茶碗が吹き飛ばされるので伏せた上に石を置いたものである、見れば横には清水を汲んだ水槽も用意してあつた

たゞ駈け過ぎて行く選手達にはこの心盡しが達せなかつたかも知れない、此處にも美しい人情があふれて嬉しかつた

"新短歌" 閉ぢたまゝの瞳

泉芳雄

郷愁は閉ぢたまゝの瞳で純情の散つた、あのページメントをひとり歩かせてゐます

ヒンヤリとする桑の觸感あなたに甘えたい疲れは叱りやうもない

シットリとした愛情だつた遠く離れゝば、思慕も冷えびえと今夜の月は美しい

又々大奮發！五十錢で大附録つきの六月號

婦人倶樂部

子供漫画 凸凹黒兵衛 きっ

別冊大附録

家庭向夏の西洋料理

手近の材料で一切お間に合ふトテモ美味しい洋食百九十四種の作り方発表、一歩進んだお料理の大附録!!

圖解本位の親切な説明で誰にもスグ出來る十五大家の責任指導！ 御家庭のお惣菜にも御來客にもスグ間に合つてキツト喜ばれる、更に洋食一切の大切な常識もよく分る重寶無比の大附録！

涙！涙！職を抛つて十年間決死の愛育 愛兒の白痴を治した父の手記

『白痴だ！』と宣告された我が子の愛育に、一切を抛つて苦行十年間、漸く天才の閃きを見出した歓び！ 親なればこそ――と身につまされて只涙です。世にも有難き父性愛美談、西垣裁縫女學院主西垣雅三氏の血涙の手記を御覧下さい。

▲未婚青年の『妻にしたい女性』座談會

サラリーマン初め各方面の婚期の青年は結婚相手としてどんな婦人を望んでゐるか？ 眞剣に赤裸々に發表、娘も母も見逃せぬ記事。

▲守した事から良縁を取逃した実話

どこにも非の打ち所のない娘さんが良縁を得られず、又折角の縁談をもなぜ勝ちなのはこんな事からです。誰方も名家の公開を御一讀！

▲『女のからだ』について吉岡彌生女史と女流五博士の座談會

無毛の話、病氣と迷信、扱ひ難い女患者。娘を弱くする母、スポーツと婦人、太り過ぎ、手足の經、痩せ過ぎの他色々興味深く非常に知識になる大讀物。

▲專門四博士公開 美人を作る新醫療法

瘡痕、痣、痘痕、禿、腋臭、小皺、眼、耳、鼻、唇等の醜い點を初めなど縫く簡單に根本的に治す方法の公開です。悩める方々への大福音！

▲頭痛のぼせ症を家庭で根治した經驗

あけび、川芎、石菖、いかり草等の使用で頑固な頭痛やのぼせ症をケロリと治した三婦人の公開、久木田博士の推奨。

▲モダン掛合話 滿洲不如歸(文・ベンタツ 家・フデスケ)

▲講談 初音の硯筥(小泉長三)

現代の驚異「信者十万の病氣を一身に引受ける『人の道』生神様と語る」

『ひとのみち』教祖御木徳一翁

美麗名画と歌詩の大特輯!!

流行歌選集

是れぞ昭和流行歌の大繪巻！ 婦人間で最も愛誦された昭和の大傑作流行歌三十五、それに日本畫壇一流人氣花形が名筆を揮した數十頁の口繪大特輯、見れば見る程美しく興味深く、歌へば歌ふ程懐かしく想ひ出が湧く、とても素晴しい大繪巻です。婦人方大熱狂！ お早く御覧下さい。

婦人倶樂部ゆかた 千葉早智子さん

婦人倶樂部ゆかた 高津慶子さん

特輯 重寶な携帯用小物手藝の作り方

三越手藝品部

(1)重寶な携帯用針さし (2)體裁のよい携帯用針道具入れ (3)氣のきいた婦人用名刺入れ (4)便利な小型七ツ道具入れ (5)携帯に便利な耳かき入れ (6)携帯用の小鋏入れ

人氣スターの夏姿 ゆかた美人大画報

秘傳公開 出ない乳を出るやうにする新療法

指先の簡単な應用で誰でも忽ちお乳が出る樣になり、乳痛を止める新療法、日本鍼灸……先生の公開、スグお試し下さい。

(竹内博士推奨)新案健康パジャマ三種

初夏の麗人大画報(名家令嬢寫眞)

歌劇花形の男装画報(美麗極彩色)

名士名流婦人カメラ訪問(一一人)

恋を捨て男を成功させた私

麥人を母とする歌姫の手記

映画界の新星 桑野通子 涙のロマンス

京都祇園の名妓雛勇さんの公開

白粉ののりを良くする 肌の整へ方 秘傳

中村武羅夫

大評判の小説

久米正雄先生の傑作！ 新月抄

吉屋信子先生の傑作！ 女の友情

家庭小説 結婚の條件(菊池寛)

戀愛小説 喘ぐ白鳥(加藤武雄)

▲江戸情史 千姫(三上於菟吉)

▲時代小説 夢の浮橋(大佛次郎)

▲映畫小説 東京よいとこ(加月舞)

特價 大附録つき 五十錢 (送料六錢) ◎ 東京小石川 大日本雄辯會講談社發行

日滿合作賑かに「スポーツの華開く
來る建國記念大運動會に 日本側も擧て參加

滿洲國スポーツの豪華、建國記念第四回新京大運動會は來る六月五日正午から西公園運動場で開催することになつたが、當日は特別市内の各運動團体、各學校生徒はもちろん附屬地側から新京体育聯盟各部、各男女中等學校、各初等學校生徒ら參加し、日滿合作たる日滿健兒の躍動によつて稀に見る盛況を豫想されてゐる、當日は午前十一時半までに參加者並に役員集合、日滿國旗を掲揚並に國歌合唱、引續き一同建國記念歌を合唱して會長の挨拶によつて競技が開始される　その順序は左の通りである

▲滿洲國体操（滿洲側小學校職員有志）

▲日本側

A、學校競技
　劍道野試合新京商業
　綱引新京中學　新京高女
　マスゲーム（体育ダンス）西廣場校
　マスゲーム　室町校
　マスゲーム　白菊校
　棒倒し　普通學校
　ラヂオ体操　公學堂
　騎馬戰

B、リレー競技各小學兒童

▲滿洲國側

A、團体競技
　舞踊一種目
　体操一種目

B、リレー
　四年以下二百米
　五年以下四百米
　中等學校四百米

▲一般演技
　新京体育聯盟各部常任委員對抗リレー

右競技を終つて日滿假裝行列あり國旗降納、建國記念運動歌合唱、委員長閉會の辭あつて萬歳を三唱して同四時すぎ散會の豫定である

新京聯合防護團の 初の訓練演習
廿六日午後二時西公園で 指導と實施の要領

新京聯合防護團の訓練演習は二十六日午後二時から西公園運動場で擧行されるが、指導要領並に實施要領は左の通りである

指導要領

△交通整理班の群集誘導要領
一、班長の指示に依り各組は逐次行軍縱隊に整列しつつ避難所に誘導す
二、班長は所要の傳令を從へて先行し避難所管理班に連絡して群集を之に引渡す手配をなす
三、避難者群の先頭避難所に到着せば避難所管理班と協力して逐次群集を所定の位置に收容す
四、群集を避難所に收容し整理を了せば班長は班員を纏めて引上ぐ

△避難所管理班の動作
一、避難者群到著せば班長は豫定計畫に基き班員を指揮し交通整理班と協力して逐次群集を豫定の位置に收容整理す
二、老幼婦女子等は他と區別し負傷者は之を救護班に引渡す
三、群集の取扱は懇切を旨とし努めて騷擾せしめざる如く指導し且つ警護班員と協力して所内外の整理警戒に任ず

△警護班の動作
避難所管理班と協力し主として外部に對する警備を擔任し且つ群集の騷擾混亂を警戒す

△警報班の動作
組長の指示に依り「メガホン」又は手持「サイレン」をもつて迅速確實に傳達す

△防毒班の動作
一、瓦斯撒毒の急報に接したる防毒班は現場に急行し中毒患者等の救出に協力し直に所命の作業を實施す
二、瓦斯斥候の動作
組長の指揮を以て瓦斯の種類を驗知し持久性瓦斯の撒毒地域を探知して之を標示す
別に一組は各種の方法を以て瓦斯警報を發し一般に警告を與ふ瓦斯哨は危險區域警戒の任に當る
三、消毒組の動作
撒毒地域を逐次消毒す

△救護班の動作
一、防毒班員と協力して瓦斯中毒患者の運搬收容應急手當に任ず
二、中毒者は輕重の區分に從ひ或は擔架を使用し或は介添者に依り速に一時救護所に收容す
三、婦人救護班員及國防特志看護婦團は救護作業を應援す
四、救護班附專門醫師は患者の應急手當及技術的指導に當る

實施要領

午後二時全員所定の位置に集合
聯合防護團長訓示（十五分）
情況を示し演習を實施す（約十五分）

△情況第一
新京商業學校及附近一帶の地は敵機の投下せる爆彈に依り各所に火災を惹起し且つ毒瓦斯の襲來を受く
避難者群は交通整理班員に誘導せられ豫め準備せられたる西公園一時避難所に向ひ急行中なり
敵機空襲の情況を示し警報班警報を傳達す（約十分）

△情況第二
三機編隊の敵の輕爆機は午後二時三十分吉林上空に現はれ新京方向に向ふ高度四〇〇〇
瓦斯彈落下の情況を現示し各班の動作を演ず（約三十分）

△情況第三
避難者群は交通整理班及避難所管理班の適切なる指導に依り秩序正しく收容整理を完了す

△情況第四
避難所の上空に敵の一機飛來して瓦斯彈を投下す
次の情況を警報班に於て傳達し演習を終了ず

△情況第四
新京を空襲せし敵の爆擊機群は我地上軍防空飛行隊の果敢なる攻擊に遭ひ多大の損害を蒙り大部は擊墜せられ殘余は辛ふじて逸走す
我損害は軍隊、憲兵、警察官憲の適切なる指導に依る防護團員の獻身的活動に依り極度に輕減せられ其程度輕微にして市民の死傷十數名に過ぎず建設物は多少の被害を蒙りしも工作班員等の活動に依り急速に應急復舊を見る見込なり撒毒地帶の消毒は既に完了し危險地域なる市内の秩序は急速に恢復しつゝあり

躍進國都の表徵
第五回ショーウヰンド競飾會
參加商店六十を網羅して 今日華々しく開會

滿洲電氣協會主催第五回全新京ショーウヰンド競飾會はいよく二十四日から二十八日まで左の通り六十餘軒の參加の下に蓋をあける、躍進途上に在る新京のこととて參加店數も昨年に倍するすばらしい勢ひである

入賞商店の豫想投票募集

尙恒例による入賞店の豫想投票に別項の規定による

一、方法
所定の投票用紙に依り一等より三等迄記入し住所氏名を明記（以上不明なるものは除外）し投票箱に投入するものとす

二、投票用紙
後援新聞に毎日二枚宛刷込み之を使用するものとす但し其の他の用紙を用ひたるものは無効とす
注意一般豫想投票者に於ては商業學校生徒の分は一圓に限り投票すること

三、投票箱備付箇所
新京電業局日本橋通營業所城內營業所並新京輸入組合の三箇所とす

四、賞品
左の金額に相當する物品但し一人一賞とす其の他各商店寄贈の副賞を附するものとす
一等金三十圓二等金二十五圓三等金二十圓四等金十五圓五等金十圓以下六等より十等迄五名金五圓宛とす

五、賞品陳列所
新京電業局日本橋通營業所

六、締切
五月二十九日午前九時に締切る、締切責任者は久末総理事とす

七、採點方法
審査員の決定せる等級席順に依り一等當選三點、二等當選二點、三等當選一點とし同點者の場合は抽籤に依り等級を決定するものとす

八、開票日時
五月三十日午前九時より投票の整理を行ひ等級を決定す、立會者は警察官一名後援新聞社員各一名宛とす

九、當選發表
五月三十日後援新聞夕刊にて發表

十、景品引渡期日及場所
發表の翌日より向ふ二週間内に新京電業局日本橋通營業所に於て景品の引渡をなす

參加商店名

現代號（日本橋通り）秋林洋行、ベレー商會、平本洋行、福豐號、興順增、中谷時計店、大正堂時計店、みしまや呉服店、伊勢商會、井上誠昌堂藥房、丸岡商店林洋行、日乃出、柳屋商店（中央通り）森洋行、協盛商會三興洋行、赤木洋行（三笠町三町目）河久商店（同二丁目）岩間商森商店（同）阿部時計店（吉野町一丁目）晴眼堂（同二丁目）ミツワ屋書店、渡邊運動具店、同寶泰興、（同四丁目）公合號、三協運動具店（室町二丁目）大本洋行（梅ヶ枝町二丁目）玉屋フトン店（東一條通り）篠田呉服店（祝町二丁目）寶來屋パン店（同）寶山洋行（永樂町一丁目）西川萬年筆店（同二丁目）玉屋菓子店（同一丁目）榮支店（同二丁目）西村洋行（同二丁目）大上洋行（同一丁目）十文字屋（東二條通り）老天合（二馬路）順懋號（三馬路）同興茂（同）東發合（四馬路）泰發合（西四馬路入口）源昌號（大馬路）公和利（北門裡）寶泰昌（北門外）集竹齋（同大街）振興合（長邊路西門牌五）平本洋行（日本橋通）廣春洋行（吉の町二ノ三）柳田商店（吉の町一ノ二〇）岩室商店（梅ヶ枝町二丁目）商業學校生徒中央通柳屋同（永樂町寶山洋行）同（吉野町廣居洋行）同（永樂町西山萬年筆店）

藝術寫眞募集

全新京店頭競飾會加入店飾窓の藝術的寫眞を募集する、規定ならびに懸賞方法は左の通りである

一、題は期間中飾窓競技會參加ウヰンドウに限る
二、アマチュアたること
三、寫眞は一組毎に撮影したる店名及應募者の住所氏名を原稿用紙に書いて同封の事
四、一人にして幾組應募するも差支へなし、但し前條項は毎一枚に明記の事
五、大きさ　名刺以上
六、印畫紙　自由
七、臺紙へ貼付せざること
八、作品は未發表たること
九、應募作品締切　六月五日
一〇、同發表　六月下旬
一一、（送先）新京二馬路實業部工商司內滿洲電氣協會駐在辦事處
一二、入選寫眞の版權は滿洲電氣協會に屬す
一三、應募作品は一切返却せず
一四、入選者には次の賞金を授與するものとす
一等　一名　金二十圓
二等　一名　金十圓
三等　三名　金五圓
一五、其の他
（一）審查員並展覽會場は追て發表す
（二）本募集作品の審查は入賞ウヰンドウに關係せず

參加商店巡回デー

店頭競飾會參加商店の場所を知るために各商店を戶別訪問する
一、實施期日　自五月二十六日（日曜日）至五月二十八日（火曜日）三日間
二、參加商店名を印刷したるカードを豫め商店に備置き顧客に渡す
三、顧客は記載せる商店を巡回訪問なし「飾窓參加番號」及び「主なる販賣品目」を夫々記入するものとす
四、巡回を完了したるカードは豫想投票箱に投入して戴けば整理番號を附し締切後警察官立會の下に抽籤で賞品を呈上す
五、此れに要するカードは電業局に於て參加商店へ適當配布す

防空講演と 映畫會を開催
一般と學生のため

防空講演および映畫會は左記の通り開催、一般民衆のためには三十一日および六月一日の兩日間西公園で夜間開催するが天候の都合によつては延期されるかも知れないと（括孤內は會場）

△二十五日午後一時山內少佐商業學校及中學校生徒のため（商業學校）
△二十七日午後一時東中佐、女學生及國防婦人會員のため（女學校）
△二十八日午後一時松村大尉小學生（五年以上）公學校普通學校生徒のため（室町校）
△二十九日午後一時高木正校西廣場、白菊、八島各小學生（五年以上）のため（西廣場校）
△三十一日午後八時松村大尉一般民衆のため（西公園）
△六月一日午後八時高木正校同（西公園）
いづれも二時間の豫定である

孔子畫像を湯島聖堂へ寄贈
湖南省主席 何健氏

【東京國通】曩に湯島聖堂の落成や孔子の後裔の訪日がある等近來儒者を通じての日支親善の機運が深められてゐる折柄今度は中華民國湖南省政府主席何健氏から湯島聖堂の落成を慶賀して同氏秘藏の孔子畫像一幅を聖堂に寄贈して來た、湯島聖堂は右畫像を立派な箱を拵へ大切に保存し孔子祭その他の聖堂のお祭りには之を掲げて一般の觀覽にも供する事となつた

傷病兵七十二名 晴れの凱旋

宮崎特務曹長以下七十二名の傷病兵は廿三日午後四時發列車にて驛頭國防婦人會會員其の他日滿官民多數の見送りを受けて大連經由內地原隊へ向け晴れの凱旋の途に就いた

野犬驅除 飼犬に注意せよ

六月三日から同十三日迄新京附屬地內の野犬驅除を行ふから飼犬には飼主を知り得るやう頸環又は牌を附して野良犬と間違へられぬやう注意が肝要である

狂犬病豫防 注射を受くべし

新京署では狂犬病豫防注射を左記に依り施行するから畜犬飼育者は最寄りで注射を受けなくてはならぬ
六月四日から六日迄午前九時から午後三時迄の間消防隊で
同七日八日は高砂町六丁目元細菌檢查所跡で同時刻
同九日十日は白菊町白菊會館

田中氏來社

新京居留民會評議員選擧に第一區當選者田中善平氏は二十三日挨拶に來社

學校だより

楠公六百年祭 各校行事

新京中學　では二十五日楠公六百年記念祭當日講堂に全校生徒を集め楠公に關する講話をなすことになつてゐる

新京商業　の楠公六百年記念祭は二十五日午前八時より全校職員生徒講堂に集合武田地方事務所長より一場の講話あり終つて楠公劇を催すが演出係は赤塚校長指導の下に
田邊、松井、渡邊（武）川上、吉原、橋本、諸浩、小西、保坂、本田、神野、舞合裝置係は森、藤原兩教諭越智、坂井、中村（光）渡邊（敏）河部、淺田、村上（幸）岸本、下德、衣裳係萩野、林、森、岡城、高宮五教諭、川本田、本奧、田山口、花田、日出島、神野矢田、津澤、髙橋、大川、泉知、山本、吉田、永淵、山田、坂本、泉三等會てない催しとていづれも意氣込んでゐる

新京高女　の楠公六百年記念祭は二十五日午後一時より講堂に於て楠公記念學藝會を催し講堂には生徒の楠公に關する作品を陳列して大偉人の誠忠を偲ぶことになつてゐる學藝會のプログラムは左の如くである
（一）開會の辭五年鈴木恭子（二）校歌合唱一同（三）研究發表（イ）地理上より見たる大楠公史蹟五年三村三智子（ロ）戰略家としての大楠公四年津田朝子（三）講演森下教諭（四）齊唱（イ）吉野山行一年四組（ロ）大楠公一年四組（五）齊唱吉野山二年生（六）合唱松の下露音樂部（七）合唱小楠公四年菊水の譽四年（八）舞踊大楠公四年坂本幸惠堀內初子（九）舞踊嗚呼忠臣楠子之墓四年坂本幸惠（十）劇楠木正成五年三年合同演出（十一）閉會の辭五年佐藤道子

八島小學校　の大楠公六百年記念祭は二十五日同校講堂に楠公に關する資料を陳列し校長より講話をなして偉人の誠忠を偲ぶ筈である

高女の籠球試合

新京高等女學校では二十五日撫順高等女學校生徒の來京を機とし同日午後三時頃より校庭に於てバスケットボールとバレーの競技をなすことゝなり目下猛練習中である

全佛庭球試合に 山岸、西村の出場

【オートイユ廿二日發國通】全フランス庭球選手權試合出場の山岸、西村組は廿二日ダブルス第三回戰に於て英國のペリー、タッケー組と對戰第三セットではニ度マッチポイントまで漕ぎつけたがペリー君の猛襲を受けて遂に敗退尙混合ダブルスでは西村君はオランダのナンバーワン、クケルク孃と組んでフランスのアダモフ孃ブース組を取り第三回戰に進んだ

比島選手 マニラ出發

【マニラ廿二日發國通】日本フイリッピン對抗競技に出場する比島陸上野球拳鬪選手役員併せて四十五名の一行は監督ホセザンス氏に引率されて廿二日ゼネラルシャーマン號プレシデント、グランド號で相前後してマニラ出帆神戶に向つた

長岡新總務廳長は明朗廳長として滿洲國内上から下へ甚だ氣受けがいゝが、その理由の一つは招待の宴席の挨拶にごたくを並べず簡單卒直なところがあるらしい▲二十二日夜の廳長就任披露宴にもやはり「では簡單に御挨拶を申上げます」と例によつて例の如く「あつさり一齣」でも關東局總長就任の時の挨拶より何十秒か長かつたやうに思はれた、いゝことは繼續すべきであり、大いに眞似るべきである

國都治安の護り
酷寒炎暑を冐し 眞の理想は官民の握手

國都の警察人を語る

綿のやうに疲れた身体を引ずるやうに歸宅した時計が丁度午前一時を打つた、愛兒は既に眠つて姿を見せない、着替へをしやうと衣紋竹の着物を手にした瞬間專用電話のベルが靜寂を破つて惱みつくやうに鳴る思はず受話機が耳に持つてゆかれる「ハイ×××です何三人組の拳銃強盜だ！フムく　よろしい御苦勞さん」受話機をかけるや否や早速署にとつて返し非常召集だ

×

北滿の冬は寒いといふよりも痛いといふ方が適切だ屋外の寒氣は零下三十度を下ること は珍らしくない、防寒外套の襟は呼吸が凍りついて氷柱が下つてくる足は千切れそうに痛い、午前二時頃一台の客馬車が非常線に引つかゝる「どこへ行きますか！うんそうか氣をつけて行き給へ」カフエーがはねておでん屋で一杯ひつかけいゝ氣持で歸宅途中の通勤の年增女給さんだあとはヒユーくと吹雪の音が街を渡つて行く

×

「わつしの娘つ兒が新京にゐるといふ風の便りにあれも年頃悪い虫でもついては大變とはるぐ内地の××からやつて來ただ、一つ旦那のお力で探してやつてくんだんせえ」と飛び込んで來る

×

火事が多い氣をつけろ！ペストだ！天然痘だ！赤痢が流行する！それつ豫防注射だーと晝夜寒暑間斷なくさながら子供を見守る親のやうに一般民衆の社會的生活の保護に當つてゐるのが警察署の仕事なので、ところが世の中が進步し生活樣式が複雜になるに從つて警察の力だけでは完全に任務を遂行することが出來難い、どうしても一般民衆の力を籍りねばならなくなつて來た、所謂民衆警察といふことを叫ばれるに至つた所以である、殊に新京のやうに一ケ月一千五六百人づつ人口が殖へてゆく所では警察の仕事も一通りの骨の折れやうではない、そこで記者は國都新京の治安の重責に任ぜる新京警察署と首都警察廳の直接其の運用の任に當れる人はどういふ人々であるか、又その擔任の範圍について說明を加へ且つ當事者より一般民衆に對する希望をも添へて警察に對する一般民衆の認識を深める一端に資したいと思ふ、順序として先づ新京署より筆を起すことにする

鮮魚小賣相場（廿三日）

品名	相場
活鯛	七二―三三
氷同	二七―二二
チス同	二〇―一三
ブリ	一三―一〇
ヒラス	二〇―一二
サハラ	二〇―一〇
マチ	二一―二〇
イワシ	一二―一〇
タコ	二〇―一〇
水イカ	三三―二〇
イセエビ	七二―四〇
タルマエビ	二七―一六
アイゴ	二〇―一三
アワビ	八〇―四六
マス	三〇―二五

女人婆羅門（百四十八）

（舞臺上演・映畫化）

長田秀雄　作
西正世志　畫

花を葬ふもの（六）

町田信也と別れてから、一日二日と指折數へて、東京の安否を待つてゐるうちに、昨日今日と過ぎ早くも三十日ほど經過した。

梅子は、朝晩、東の空のみうち眺めて居ると、六月八日の午後、

「中野梅子さんといふのは、此方にお出でございますか」

「はい、中野は私でございます」

出て見ると、郵便配達夫であつた。

「書留の郵便ですから、一寸受取へ認印を捺して下さいまし」

「はい、畏まりました」

認印を捺し、郵便を受取つて、嬉しさに、取る手遲しと上書を讀み下ろした。

小田原幸町清水氏別莊にて、中野梅子殿、東京本郷龍岡町町田信也より、とあつた。

丁度、彼方から仙之助の妻お澤が、

「梅子さま、信也様からお便りがありましたか、無お嬉しうございませう」

と、悦して眺め顔であつた。

梅子は、一月ぶりで、笑顔になつた。

封を押切つて讀み下すと、

現父事釜生叶はず去月中旬終に逝去致し其後種々の取込にて意外の御無沙汰になり等閑の段御宥し賜はるべく候、四十九日も無過致し候へば其地へ參り百事御相談可申候、些少ながら金三十圓お送り申候其地郵便局にて受取可爲成候、尚委しきことは本月下旬御目に掛り御話可申候匆々、

梅子どの　信也

讀んでゐるうちに、瞼が熱くなつて涙が滲んで來た。

「伯母さま、信也様のお手紙、讀んで下さいまし」

お澤は受取つて、

「まあ、殿御様はお逝くなりになりまして、御氣の毒な事で御座います」

「はい、到頭一度もお目に掛りませず、殘念で御座います」

「ほんに殘念なことで御座いますねえ——しかし、信也様は、少しお待遠さまでありますけれども、今月下旬御出でになるといふ、それが何より結構なことで御座います」

懷ひの中に、嬉しい安堵もあつて、

「はい、妾もこれで漸く安心いたしました。種々御心配をおかけして濟みませんでした。——そして伯母さま、この爲替手形とは、どういふもので御座いませう。何しろ始めて見ましたので、勝手が分らないのでございます」

「それは郵便局へお差出しになれば、現金と引換て下さいます。造作もないものでございます」

「おや、さうでございますか、大層便利なものでございますねえ」

と、梅子は深く感嘆した。

郵便爲替はその頃餘り一般化したものではなかつた。明治五年の始めに、驛遞頭前島密が、西洋のモニーオルダーの計畫を立て、これを郵便爲替と稱して、五萬圓の資金を請求したが、時の大藏大臣井上馨は財政困難をもつて、要求に應じなかつたので、前島氏は、さらに計畫の無用でないことを證明するために、自己の地所家屋を抵當にして、實施を急ぐことにした。たま〳〵驛官の濱中忠直が、その擧を賛して、驛官十二三名と連署して請求書を出したが、これも聽かれなかつた。しかし、その必要は益々急なので、明治八年一月より實施した。——電信爲替と小爲替法の出たのは二十九年のことであつた。

梅子は、お澤に教へられて、小田原郵便局から、三十圓の金を爲替手形によつて受取つて、夫信也の賜物と押し頂き、米鹽薪などの買物を濟ました。

その殘りは、自分の小革提の中へ入れて、その日は夜になると早目に、床に入つた。

丁度梅子が寢入つた頃、表に、二つの怪しい黑影が、ちら〳〵と動いた。